

朝日町公共施設 個別施設計画



令和3年3月

朝 日 町

目 次

第1章 計画のあらまし

第1節 計画策定の背景と目的等

- 1. 計画策定の背景 2
- 2. 計画の目的と位置づけ 3
- 3. 計画期間と策定のフロー 4
- 4. 対象施設 5

第2節 人口・財政状況

- 1. 人口動向 8
- 2. 財政状況 9

第3節 公共施設等総合管理計画の概要 10

第2章 公共施設の現状と課題

第1節 管理状況

- 1. 保有状況 14
- 2. 劣化状況 18
- 3. 施設関連経費 22

第2節 運営・利用状況

- 1. 運営状況 24
- 2. 利用状況 26

第3節 公共施設の課題 32

第3章 公共施設整備の基本方針

第1節 理念・基本原則

- 1. 理念 36
- 2. 基本原則 37

第2節 基本方針

- 1. 運営・管理の方針 38
- 2. 適正配置の方針 38
- 3. 更新の方針 39
- 4. 点検・修繕の方針 40
- 5. 改修の方針 41

第3節 類型別方針

- 1. 学習・スポーツ・学校施設 42
- 2. 福祉・観光・農林・交流施設 44
- 3. 住宅・公園等施設等 46
- 4. 行政施設 48

第4節 長期的な事業の見通し

- 1. 維持・更新コスト 50
- 2. 縮減効果 53
- 3. 類型別方針に基づく長期的な事業の見通し 55

第4章 公共施設整備計画

第1節 事業方針

1. 事業量の平準化 58
2. 優先順位の設定 60
3. 年度別整備計画 62

第2節 計画の継続的運用

1. 整備基盤の整備と活用 64
2. 推進体制の構築 64
3. フォローアップ 65
4. 今後の課題 65

計画のあらまし

第1章

第1節 計画策定の背景と目的等

1 計画策定の背景

我が国において公共施設の老朽化対策が大きな課題となっており、地方公共団体においては、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想されています。

こうした状況の中で、早急に公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、複合・集約化、長寿命化、更新などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現することが必要となっています。

国においては、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）に基づき、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、地方公共団体においても行動計画（公共施設等総合管理計画）及び個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定し、これらの計画に基づき点検等を実施した上で適切な措置を講じることが求められています。

本町においても、継続的・積極的に整備を進めた結果、多くの公共施設を保有するに至っており、今後、これら施設の老朽化が進み、大規模な改修や更新（建替・再整備）の時期を迎えることから、財政にとって大きな負担となることが予想されます。

こうした状況を踏まえ、本町の公共施設等に関する基本的な考え方や全体目標、取組み等について定める行動計画として、「朝日町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を平成28年度に策定しています。

個別施設計画に記載すべき事項

①対象施設

公共施設等総合管理計画において、個別施設計画を策定することとした施設を対象とする。計画の策定に当たっては、各施設の維持管理・更新等に係る取組状況や利用状況等に鑑み、個別施設のメンテナンスサイクルを計画的に実行する上で最も効率的・効果的と考えられる計画策定の単位（例えば、事業毎の分類（道路、下水道等）や、構造物毎の分類（橋梁、トンネル、管路等）等）を設定の上、その単位毎に計画を策定する。

②計画期間

インフラの状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、定期点検サイクル等を考慮の上計画期間を設定し、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新するものとする。

本基本計画で示す取組を通じ、知見やノウハウの蓄積を進め、計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図る。

③対策の優先順位の考え方

個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化する。

④個別施設の状態等

点検・診断によって得られた個別施設の状態について、施設毎に整理する。なお、点検・診断を未実施の施設については、点検実施時期を明記する。また、対策の優先順位の考え方で明らかにした事項のうち、個別施設の状態以外の事項について、必要な情報を整理する。

⑤対策内容と実施時期

対策の優先順位の考え方、個別施設の状態等を踏まえ、次回の点検・診断や修繕・更新、更には、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設毎に整理する。

⑥対策費用

計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。

（インフラ長寿命化基本計画）

2 計画の目的と位置づけ

(1) 計画の目的

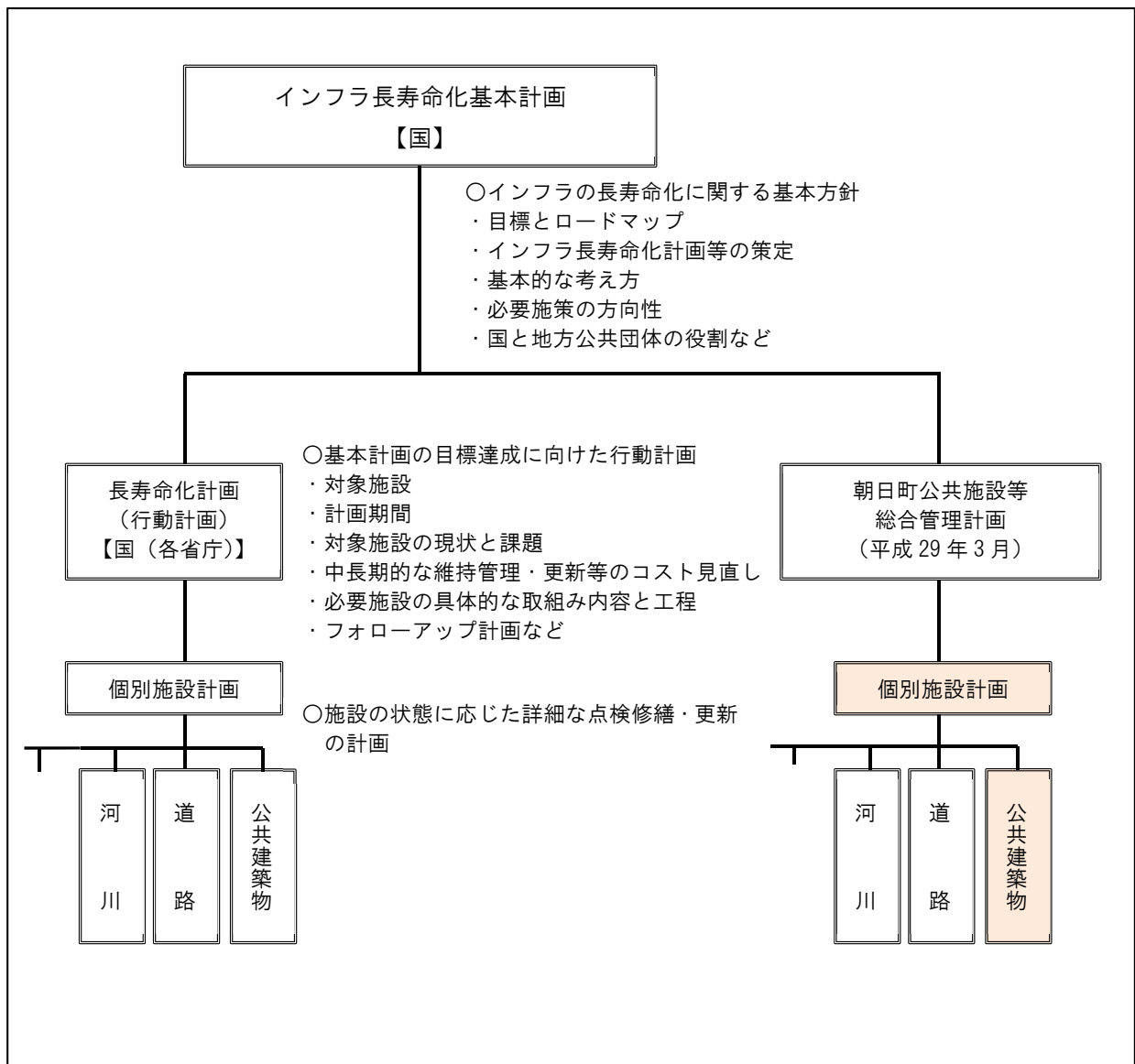
「総合管理計画」の具体化に向けた取組みを推進するにあたり、公共建築物について、中長期的な視点から、施設保有量の適正化と長寿命化、財政負担の軽減を図るための計画的な維持・更新を実施する必要があります。

「朝日町公共施設個別施設計画」（以下、「本計画」という。）は、公共施設の維持・更新及び予算規模に応じた費用の平準化、優先づけ等を行うことで事業実施の有無や実施時期を適切に判断し、着実な事業実施が可能となる整備方針を示すことを目的とするものです。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、行動計画として策定した「総合管理計画」を上位計画とし、財政状況を踏まえた各公共施設の改修や更新の実施時期の適正化を図るための「個別施設計画」として位置づけられる計画です。

計画の位置づけ



3 計画期間と策定のフロー

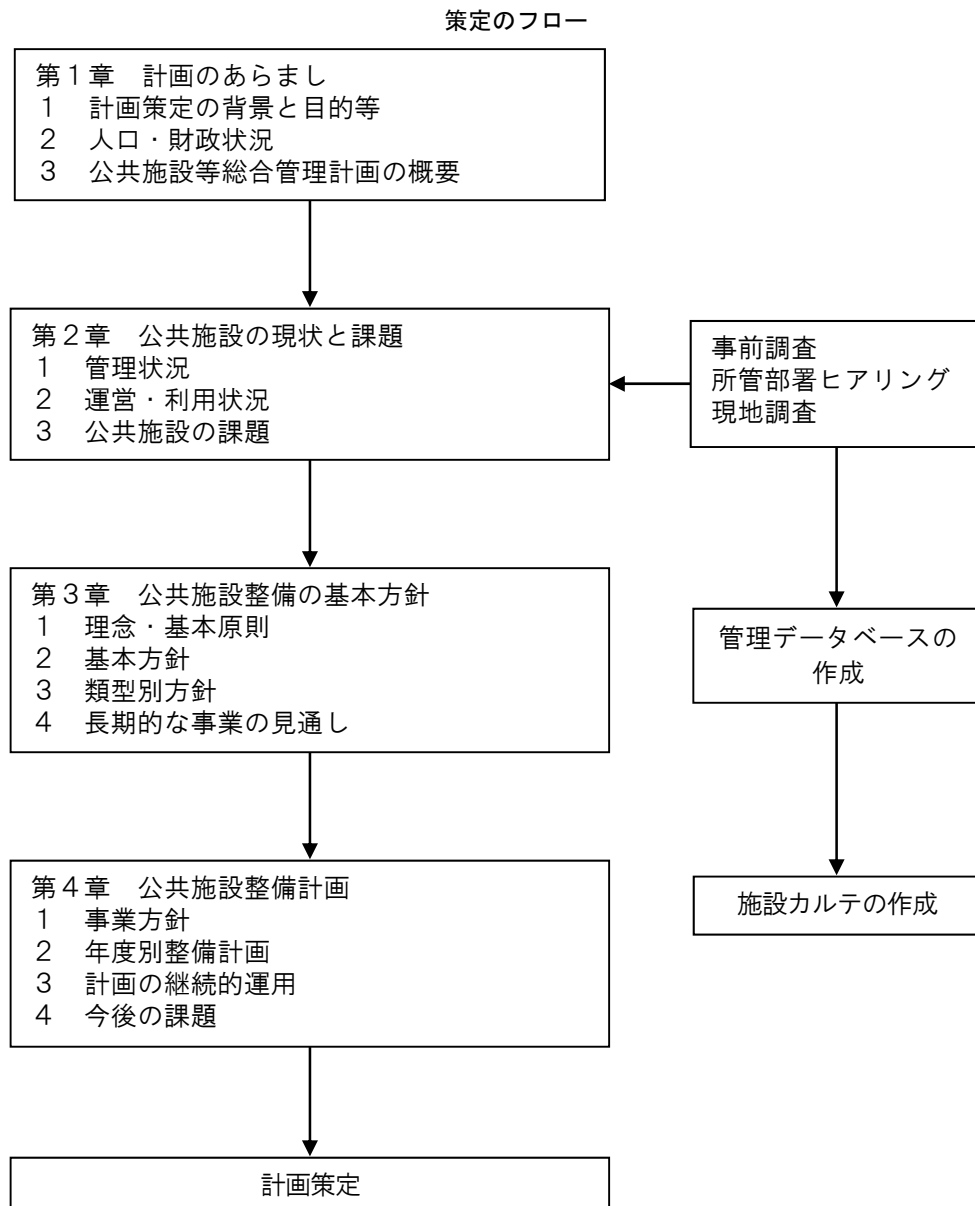
(1) 計画期間

本計画は、「総合管理計画」の計画期間である 2055 年度までの長期的な見通しを考慮しつつ、令和 3 年（2021 年）度～令和 12 年（2030 年）度の 10 年間を計画期間とします。

計画期間															
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
公共施設等 総合管理計画	策定	計画期間 2017 年度～2026 年度													
公共施設個別 施設計画					策定	計画期間 2021 年度～2030 年度									

(2) 計画策定のフロー

本計画は、全庁的な協議を踏まえ、以下のようなフローにより策定します。



4 対象施設

本計画の対象施設は、「総合管理計画」策定後に建設された施設を含む 66 施設 151 棟とし、類型別の施設数は以下のとおりです。

①学習・スポーツ・学校施設 21 施設

生涯学習施設 5、スポーツ施設 8、運動・広場 4、学校施設 4

②福祉・観光・農林・交流施設 17 施設

健康福祉施設 3、観光施設 8、農林施設 4、交流施設 2

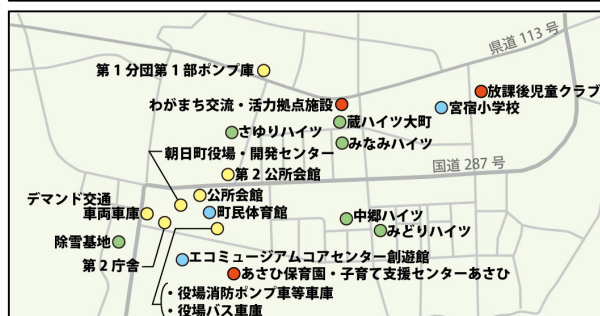
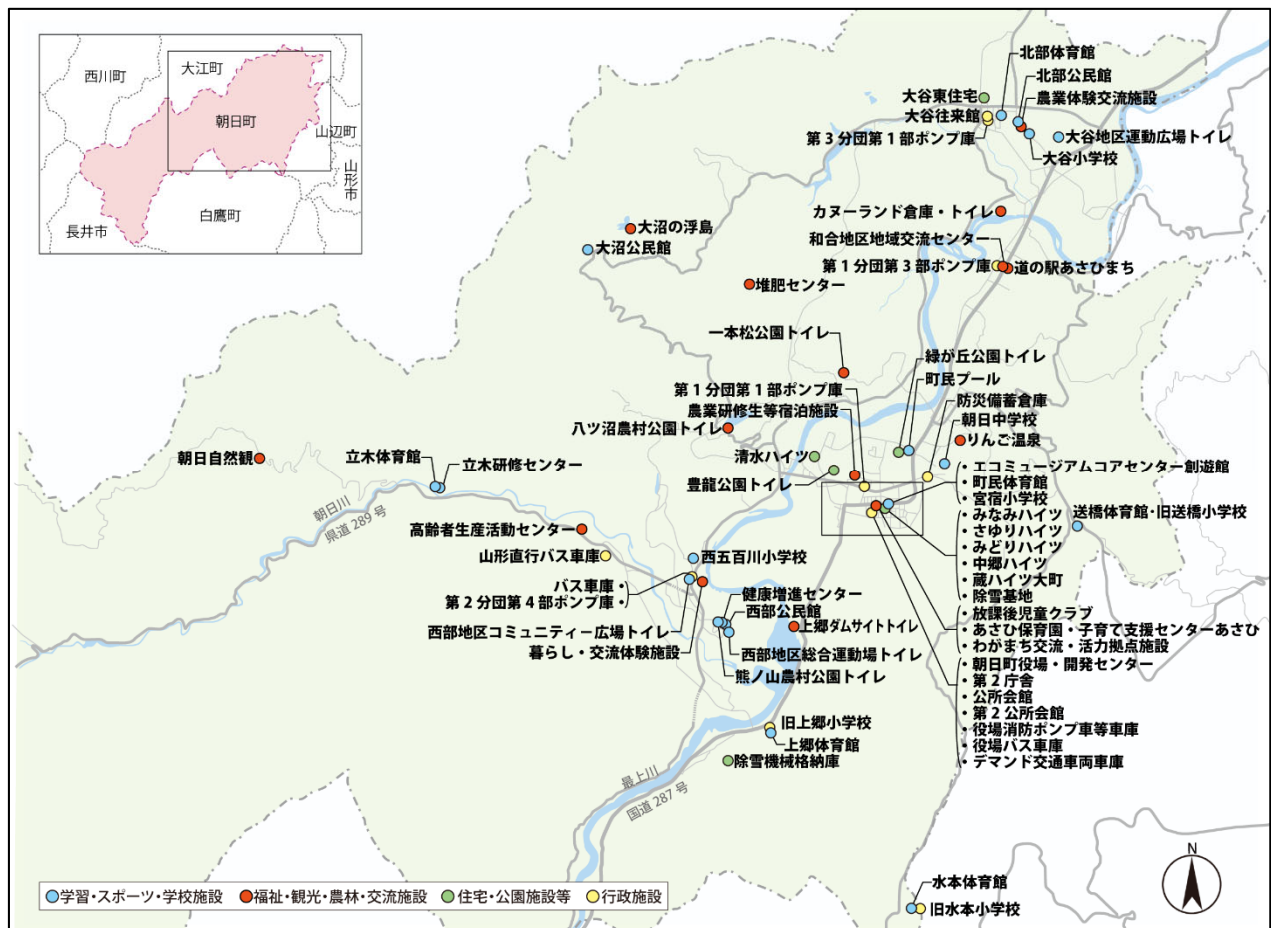
③住宅・公園施設等 11 施設

町営住宅 4、特定公共賃貸住宅等 3、公園・除雪施設 4

④行政施設 17 施設

庁舎等 7、消防ポンプ・車庫等 10

対象施設



対象施設 1/2

No.	類型	名称	所在地	総延床面積㎡	棟数
1	学習・スポーツ・学校施設	エコミュージアムコアセンター創遊館	宮宿 2265	3,727	1
2		立木研修センター	立木 300	1,263	1
3		西部公民館	常盤に 519-7	805	1
4		北部公民館	大谷 1135-1	860	2
5		大沼公民館	大沼 294-4	1,181	1
6		町民体育館	宮宿 1115	1,272	1
7		送橋体育館・旧送橋小学校	送橋 461	2,005	1
8		上郷体育館	上郷 314	601	1
9		水本体育館	水本 620	503	1
10		立木体育館	立木 300	764	1
11		北部体育館	大谷 1347	496	1
12		健康増進センター	常盤に 518-2	977	1
13		町民プール	宮宿 345-1・四ノ沢 1077-1 他	172	2
14		大谷地区運動広場トイレ	大谷 1697-23	26	1
15		西部地区総合運動場トイレ	常盤へ 241-1	6	1
16		西部地区コミュニティ広場トイレ	常盤ろ 33	14	1
17		熊ノ山農村公園トイレ	常盤に 518-1 他	43	1
18		西五百川小学校	常盤い 181-1	2,874	3
19		宮宿小学校	宮宿 1021-2	3,806	4
20		大谷小学校	大谷 1147	3,725	3
21		朝日中学校	宮宿 108	7,513	5
22	福祉・観光・農林・交流施設	高齢者生産活動センター	太郎 1544	755	1
23		あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	宮宿 2272	2,090	3
24		放課後児童クラブ	宮宿 2405-1	313	1
25		朝日自然観	白倉 745-1	5,503	40
26		わがまち交流・活力拠点施設	宮宿 1175-2	159	2
27		道の駅あさひまち	和合 2724	848	3
28		上郷ダムサイトトイレ	大滝 118-2	30	1
29		大沼の浮島	大沼 984	60	2
30		カヌーランド倉庫・トイレ	大谷 1685-1	25	1
31		一本松公園トイレ	三中乙 523-33	31	1
32		りんご温泉	宮宿 1353-1	1,855	4
33		農業体験交流施設	大谷 1135-1	117	2
34		堆肥センター	大暮山 307-1	2,355	3
35		農業研修生等宿泊施設	宮宿 1220-5	377	1
36		ハツ沼農村公園トイレ	三中甲 376-1	27	1
37	交流施設	暮らし・交流体験施設	常盤ろ 1	285	3
38		和合地区地域交流センター	和合 2728-5	496	1

※延床面積は、四捨五入により必ずしも合計は一致しない

対象施設 2/2

No.	類型		名称	所在地	総延床 面積㎡	棟数
39	住宅・公園施設等	町営住宅	清水ハイツ	宮宿 758	841	3
40			みなみハイツ	宮宿 1076-9	790	2
41			さゆりハイツ	宮宿 1104-3	999	2
42			大谷東住宅	大谷 1472-6	251	3
43		特定公共賃貸住宅等	みどりハイツ	宮宿 972-11	424	3
44			中郷ハイツ	宮宿 2306-1	2,856	7
45			蔵ハイツ大町	宮宿 1078-3	958	5
46		公園・除雪施設	緑が丘公園トイレ	宮宿 345-1・四ノ沢 1077-1 他	21	1
47			豊龍公園トイレ	宮宿 592-2	69	1
48			除雪基地	宮宿 1052-1	321	1
49			除雪機械格納庫	上郷 937	457	2
50	行政施設	庁舎等	朝日町役場・開発センター	宮宿 1115	3,571	1
51			第2庁舎	宮宿 1115	687	1
52			公所会館	宮宿 1115	225	1
53			第2公所会館	宮宿 1103-1	231	1
54			大谷往来館	大谷 1486	116	1
55			旧水本小学校	水本 620	1,484	1
56			旧上郷小学校	上郷 314	1,153	1
57			消防ポンプ・車庫等	第1分団第1部ポンプ庫	宮宿 1184-4	137
58		第1分団第3部ポンプ庫		和合 2730-2	66	1
59		第2分団第4部ポンプ庫		常盤ろ 32-5	66	1
60		第3分団第1部ポンプ庫		大谷 1631	37	1
61		防災備蓄倉庫		宮宿字上ノ田 208-1	89	1
62		役場消防ポンプ車等車庫		宮宿 1115	113	1
63		役場バス車庫		宮宿 1115	93	1
64		デマンド交通車両車庫		宮宿 1115	109	1
65		山形直行バス車庫		太郎 858-3	66	1
66	バス車庫	常盤ろ 32-5		29	1	
合計					64,218	151

エコミュージアム
コアセンター創遊館



高齢者生産活動
センター



和合地区
地域交流センター



朝日町役場・
開発センター



第2節 人口・財政状況

1 人口動向

(1) 総人口

総人口は減少傾向を示し、令和 27(2045)年には 3,419 人になると予想され、平成 27(2015)年の 7,119 人と比較すると、30 年間で 3,700 人 (52.0%) の減少となります。

(2) 年少人口

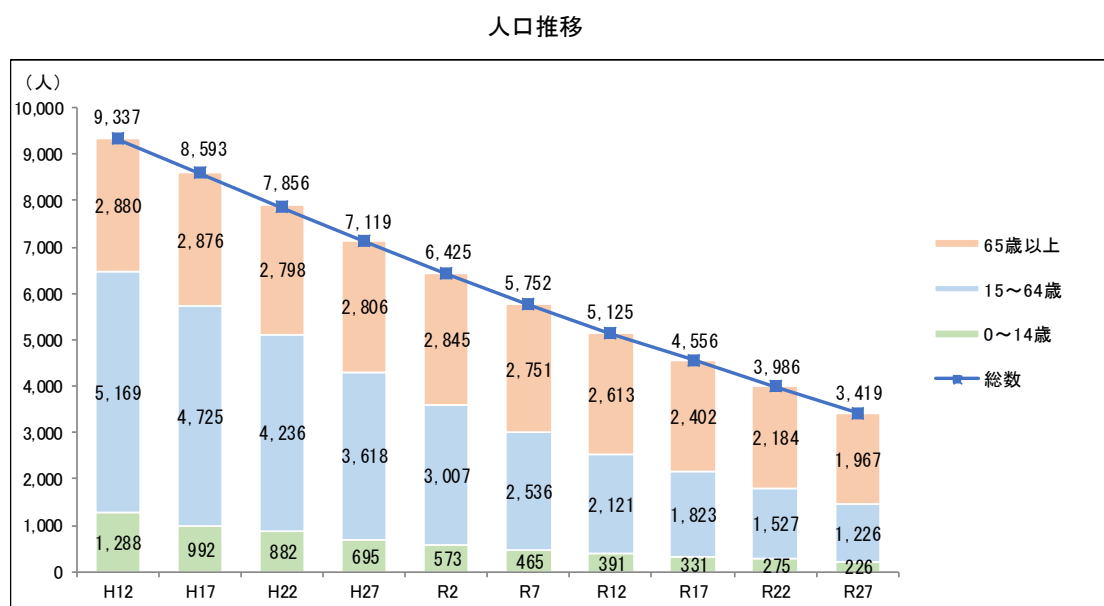
年少人口 (0～14 歳) は減少傾向を示し、令和 27 (2045) 年には 226 人になると予想され、平成 27 (2015) 年の 695 人と比較すると、30 年間で 469 人 (67.5%) の減少となります。

(3) 生産年齢人口

生産年齢人口 (15～64 歳) は減少傾向を示し、令和 27 (2045) 年には 1,226 人になると予想され、平成 27 (2015) 年の 3,618 人と比較すると、30 年間で 2,392 人 (66.1%) の減少となります。

(4) 老年人口

老年人口 (65 歳以上) は減少傾向を示し、令和 27 (2045) 年には 1,967 人になると予想され、平成 27 (2015) 年の 2,806 人と比較すると、30 年間で 839 人 (29.9%) の減少となります。



※H12～27 年は国勢調査、年齢別人口には不詳を含まないため、合計は総数と合わない

『日本の地域別将来推計人口 2018 年推計』 国立社会保障・人口問題研究所

2 財政状況

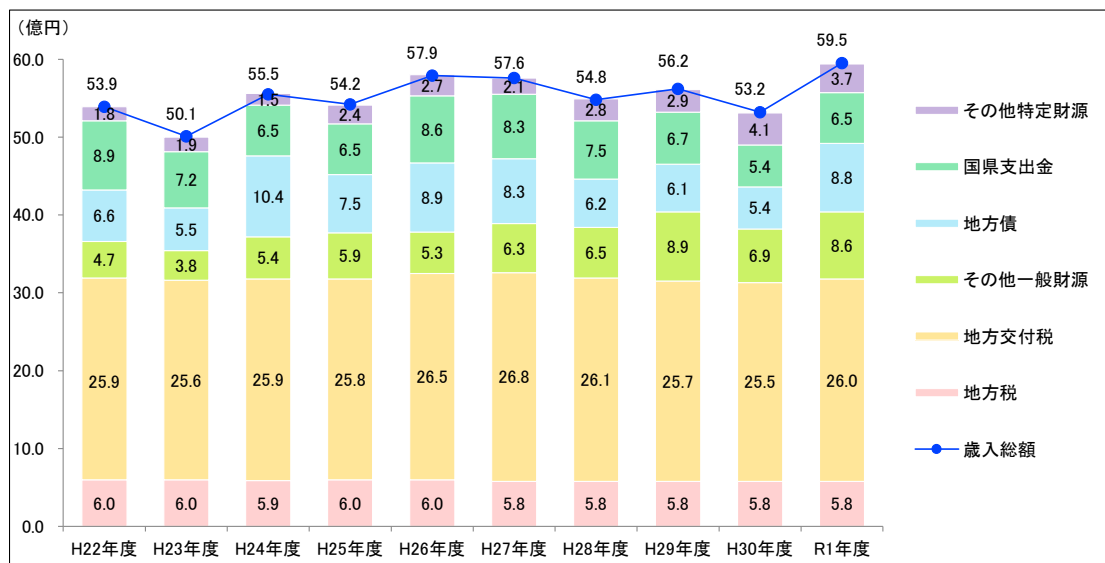
(1) 歳入

平成 22 年度から令和元年度までの過去 10 年間の歳入をみると、50.1 億円～59.5 億円で推移し、最も多い地方交付税は 25.5 億円～26.8 億円で推移しています。

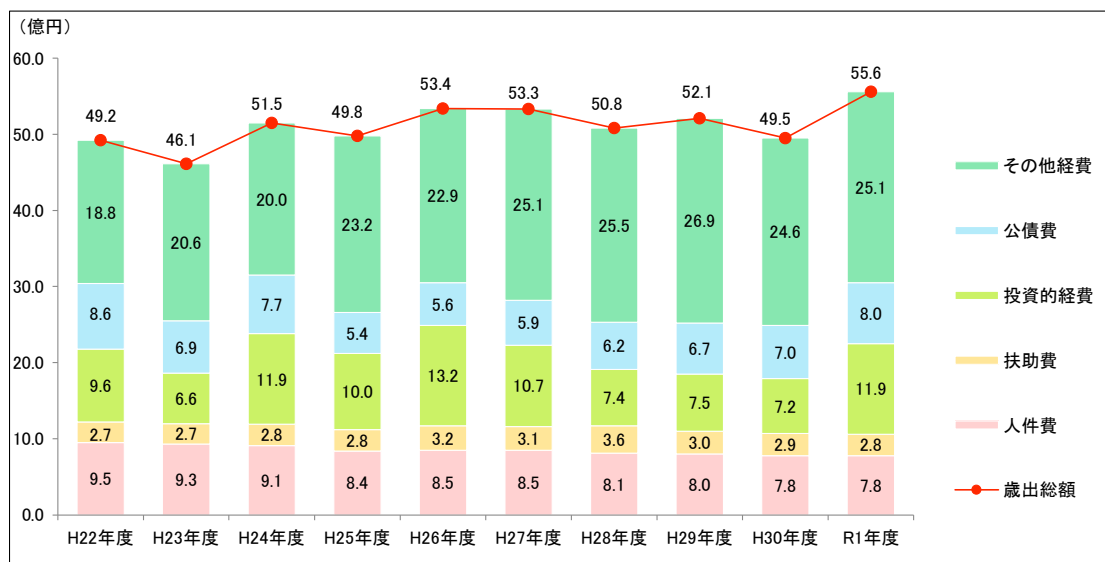
(2) 歳出

平成 22 年度から令和元年度までの過去 10 年間の歳出をみると、46.1 億円～55.6 億円で推移し、消費的経費※1 では人件費が減少傾向にあり、扶助費※3 が増加傾向にあります。投資的経費※2 は年度によって増減はありますが、全体として増加傾向にあります。

歳入の推移



歳出の推移



※1 消費的経費：人件費、物件費、扶助費など支出効果が単年度又は短期間に終わる経費

※2 投資的経費：公共施設、道路の建設や用地購入など社会資本の形成に資する経費

※3 扶助費：社会保障制度の一環として生活困窮者、高齢者、児童、障害者などに対して行う支援に要する経費

出典：『決算統計』

第3節 公共施設等総合管理計画の概要

(1) 基本方針

「総合管理計画」では、本町の公共施設等における管理の基本方針を設定し、目指すべき目標を以下のとおり定めています。

【目標1】施設量適正化の推進

公共施設のあり方や必要性について、町民ニーズや費用対効果などの面から総合的に評価を行い、施設保有量の適正化を実現します。

【目標2】安全・快適で長く活用できる施設管理の推進

今後も活用していく施設については、定期的な点検・診断を実施し、計画的な維持修繕を徹底し、長寿命化を推進することにより、長期にわたる安心・安全なサービスの提供に努めるとともに、財政負担の軽減と平準化を図ります。

【目標3】適切な施設配置と民間活力導入の促進

更新・統廃合により、適切な施設配置を進めるとともに、民間企業等の持つノウハウや資金を積極的に導入し、施設の整備や管理における官民の役割分担の適正化を図り、財政負担の軽減とサービス水準の向上を図ります。

(2) 公共施設管理の取り組み

①施設量適正化の推進

施設総量の縮減目標

人口減少に配慮しつつ、施設の複合・集約化と長寿命化を進めることにより、現状の財政負担の範囲内で改修・更新が可能となるよう、施設総量を10%縮減することを目標とし、年間負担額を6.2億円（現在の0.94倍）、現在の施設量を維持した場合（8.1億円）より1.9億円の縮減を図ります。なお、縮減量については、今後、効率的な施設の管理、運営を行いコストの低減を図ることにより、見直していくこととなります。

②長寿命化の推進

- 定期的な点検・診断の実施
- 計画的な修繕の実施
- 快適性や安全性、耐久性を向上する改修の実施
- 管理コストの縮減

③適切な施設配置と民間活力導入の促進

■適切な施設配置

地域需要のバランスを踏まえつつ、保有施設の廃止、複合化、集約化、用途変更などにより、施設の適正配置に取り組みます。施設の新設が必要な場合は、中長期的な総量規制の範囲内で、費用対効果を考慮して行います。また、施設の廃止により生じる跡地については、まちづくりに資する活用を図ります。

■民間活力を生かした管理・運営サービス向上の推進

官民の役割分担を明確にし、PPPなどの手法を用い、民間活力を施設の整備や管理に積極的に導入するなど、民間事業者等の資金やノウハウを活用したサービス提供を推進します。また、包括的な民間委託発注などの効率的な契約方法の検討を行います。

総合管理計画における類型別の方針

類型	課題	管理方針
コミュニティ支援施設	・スポーツ施設については比較的古い時期に建設された施設が多く、地域の体育館などの老朽化が進んでいます。不特定多数の方が利用する施設であり、耐震が必要な施設については耐震改修や大規模改修による安全性の確保や施設の効率的な維持・更新が必要です。 ・地域ニーズに応じた貸室の見直し等による利用者数の向上や受益者負担の見直し、指定管理者制度の導入等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営が必要です。	・貸室については、各施設の設置状況や利用状況を勘案しつつ、全町レベルで必要性和配置を再検討し、施設の更新にあわせて統合・整理や複合化を検討します。 ・利用圏が重複している施設や複数設置されている施設については、更新にあわせて統合・整理を図るとともに、用途変更も含めて検討します。 ・直営の施設にあつては、指定管理者制度等の経営形態の検討を行うとともに、段階的に業務の委託化を進め、効果的・効率的な運営を図ります。 ・施設や設備の定期的な検査と更新を計画的に進め、施設の質を保全し長寿命化を図ります。
学校施設	・朝日中学校については建設された時期が古く、今後は更なる老朽化が進むことが予想されることから、安全性を第一にした管理計画が大切です。 ・将来的な生徒数・児童数の減少を踏まえ、施設のあり方などの検討が必要です。 ・地域の避難所として、地域の防災機能強化の観点から、耐震化など安全性の確保が必要です。	・更新にあたっては、少人数学級の実施や特別支援学級の設置等を考慮した教室を整備するとともに、スケルトン・インフィル方式※1等の柔軟な設計の導入により、転用の容易化を検討します。 ※1 スケルトン・インフィル方式：建物をスケルトン（骨格・構造躯体）とインフィル（内容・設備等）に分類し、前者は長期に利用できる「耐用性」を、後者は利用者の個性や将来の変化に対応しやすい「可変性」を重視して、将来的に柔軟な対応ができるようにした建築方式
住宅施設	・清水ハイツについては、築後 30 年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、安全性の確保や効率的な施設の維持・更新が必要です。 ※上記の状況を受け、平成 30 年度・令和元年度に改修済みです。	・直営の施設にあつては、指定管理者制度等の経営形態の検討を行うとともに、段階的に業務の委託化を進め、効果的・効率的な運営を図ります。 ・入居者の意識に配慮しつつ、居住性向上や長寿命化を目的とした改善を進め、快適に居住できる住宅の確保を図ります。
行政施設	・朝日町役場・開発センター等、建物の老朽化が進んでいる施設については、効率的な施設の維持・更新が必要です。 ・地域住民のニーズを把握するとともに、稼働率の低い施設や余剰スペースの有効活用を推進し、利用率の向上を目指した施設運営が必要です。	・直営の施設にあつては、指定管理者制度等の経営形態の検討を行うとともに、段階的に業務の委託化を進め、効果的・効率的な運営を図ります。
消防・公園等施設	・ポンプ庫等（消防施設）については、消火活動や緊急時に備え定期的な点検が必要です。 ・公園施設は、少子高齢化や利用者ニーズなどの利用状況や老朽度を勘案しながら、トイレ、遊具の設置や点検などのメンテナンスが必要です。	・直営の施設にあつては、指定管理者制度等の経営形態の検討を行うとともに、段階的に業務の委託化を進め、効果的・効率的な運営を図ります。

公共施設の現状と課題

第2章

第1節 管理状況

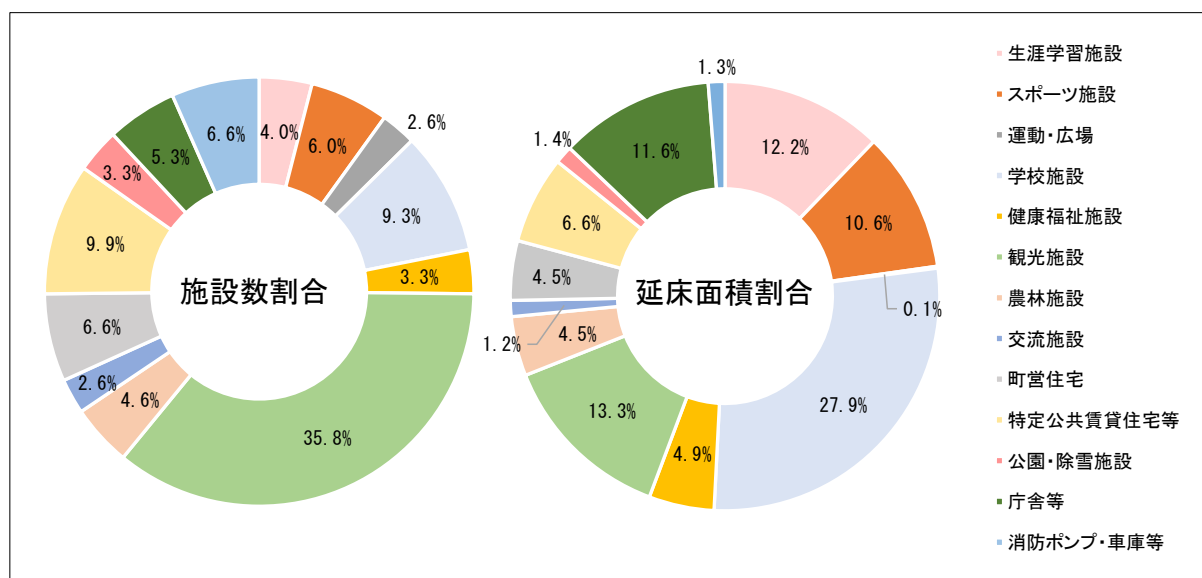
1 保有状況

(1) 施設数・施設量

保有施設は 66 施設 151 棟 64,218 ㎡。施設数が最も多いのは観光施設であり、次いで特定公共賃貸住宅、学校施設となります。

延床面積が最も広いのは学校施設であり、次いで観光施設、生涯学習施設、庁舎等の順となります。

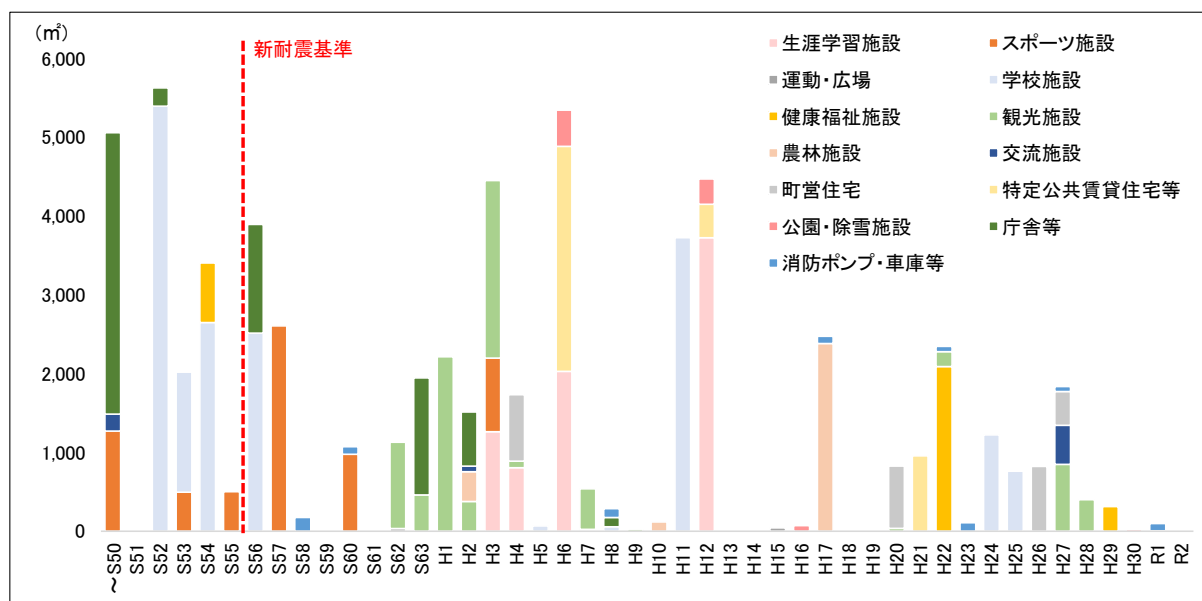
施設数・延床面積割合



(2) 年度別整備状況（延床面積）

年度別整備状況を見ると、新耐震基準となった昭和 56 年以降に整備された施設が多く、中でも平成 6 年度が最も多く、次いで平成 12 年度、平成 3 年度が多くなっています。

年度別整備状況（延床面積）

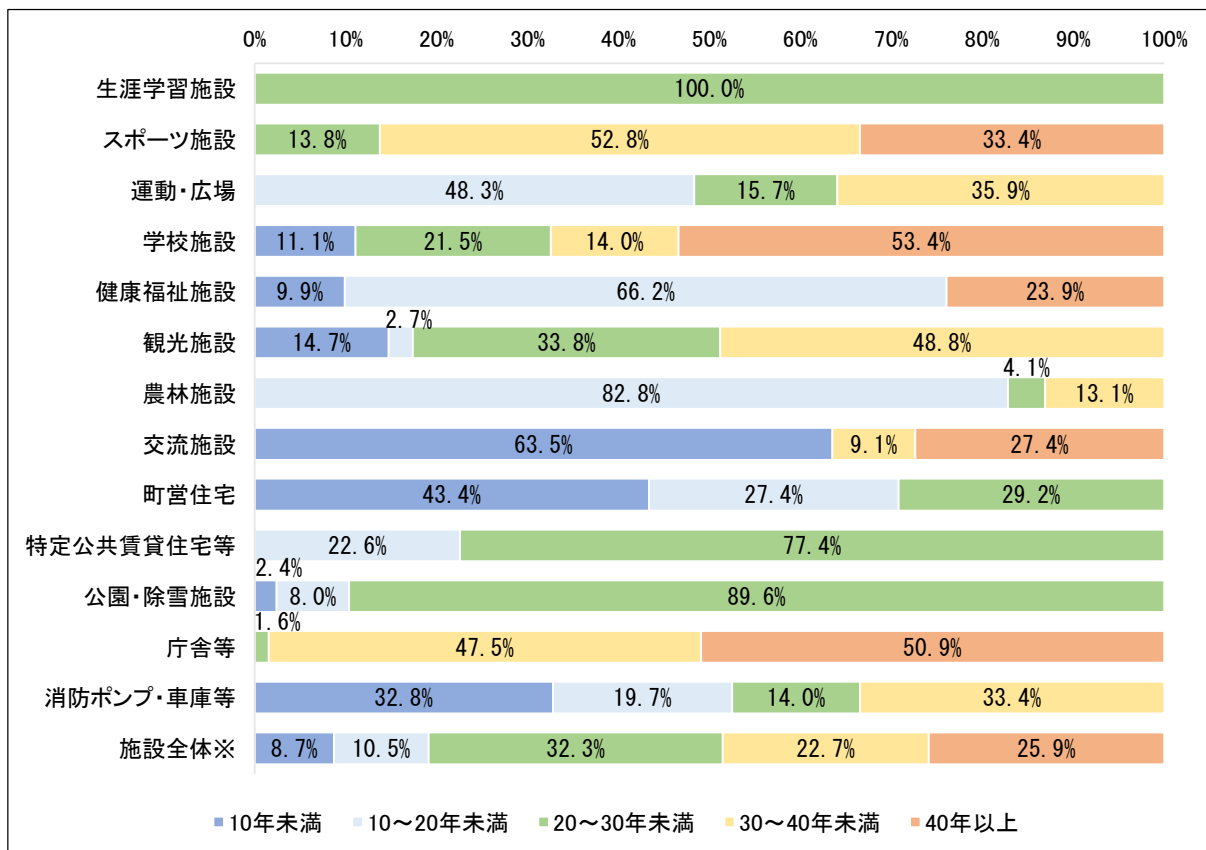


(3) 経過年数

施設の経過年数をみると、最も多いのは20年～30年未満の施設が32.3%を占め、次いで40年以上経過した施設が25.9%、30年～40年未満の施設が22.7%を占めています。

類型別にみると、学校施設と庁舎等が40年以上の割合が半数を超えていることから、老朽化が進んでいる状況となっています。

経過年別延床面積



農業体験
交流施設



健康増進センター



朝日中学校



第2 公所会館



(4) 耐震

昭和 56 年より前の旧耐震基準で建設された施設のうち、耐震改修済みの施設は町民体育館、北部体育館、西五百川小学校、朝日中学校、朝日町役場・開発センターとなります。

(5) 主な改修

最近 10 年間で主な改修を行った施設は、町民体育館、北部体育館、西五百川小学校、高齢者生産活動センター、あさひ保育園・子育て支援センターあさひ、清水ハイツ、朝日町役場・開発センター、第 2 公所会館となっています。

対象施設 1/2

No.	類型	名称	代表 建設 年度	経過 年数	代表 構造 階数	総延床 面積㎡	棟数	旧耐震 耐震性	主な改修 (年度)
1	生涯学習 施設	エコミュージアムコアセンター 創遊館	H12	20	RC2	3,727	1	-	R1 空調機器改修
2		立木研修センター	H3	29	木 2	1,263	1	-	
3		西部公民館	H3	29	RC2	805	1	-	
4		北部公民館	H6	26	木 1	860	2	-	
5		大沼公民館	H6	26	木 2	1,181	1	-	
6	学 習 ・ ス ポ ー ツ ・ 学 校 施 設	町民体育館	S48	47	SRC2	1,272	1	H25	H25 大規模改修 (耐震改修工事)
7		送橋体育館・旧送橋小学校	S57	38	SRC3	2,005	1	-	
8		上郷体育館	S57	38	S1	601	1	-	
9		水本体育館	S55	40	S1	503	1	不明	
10		立木体育館	H3	29	SRC1	764	1	-	
11		北部体育館	S53	42	S1	496	1	H25	H25 耐震改修工事
12		健康増進センター	S60	35	S1	977	1	-	
13		町民プール	H3	29	S1	172	2	-	
14	運動・広場	大谷地区運動広場トイレ	S62	33	RC1	26	1	-	
15		西部地区総合運動場トイレ	S62	33	RC1	6	1	-	
16		西部地区コミュニティー広場 トイレ	H7	25	RC1	14	1	-	
17		熊ノ山農村公園トイレ	H15	17	木 1	43	1	-	
18	学校施設	西五百川小学校	S54	41	SRC3	2,874	3	H21	H21 耐震補強工事
19		宮宿小学校	S56	39	RC3	3,806	4	-	
20		大谷小学校	H11	21	RC2	3,725	3	-	
21		朝日中学校	S52	43	SRC3	7,513	5	H22	H22 大規模改修 (耐震改修工事)



町民体育館



北部体育館

対象施設 2/2

No.	類型		名称	代表 建設 年度	経過 年数	代表 構造 階数	総延床 面積㎡	棟数	旧耐震 耐震性	主な改修 (年度)	
22	福祉・ 観光・ 農林・ 交流施設	健康福祉 施設	高齢者生産活動センター	S54	41	S1	755	1	－	H29 施設改修	
23			あさひ保育園・ 子育て支援センターあさひ	H22	10	S1	2,090	3	－	R2 屋根・床修繕	
24			放課後児童クラブ	H29	3	木1	313	1	－		
25		観光施設	朝日自然観	H1	31	S4B1	5,503	40	－		
26			わがまち交流・活力拠点施設	H22	10	木2	159	2	H22		
27			道の駅あさひまち	H27	5	木2	848	3	－		
28			上郷ダムサイトトイレ	S62	33	CB1	30	1	－		
29			大沼の浮島	H2	30	木1	60	2	－		
30			カヌーランド倉庫・トイレ	H9	23	木1	25	1	－		
31			一本松公園トイレ	H22	10	木1	31	1	－		
32			りんご温泉	H3	29	木2	1,855	4	－		
33		農林施設	農業体験交流施設	H10	22	木1	117	2	－		
34			堆肥センター	H17	15	SRC1	2,355	3	－		
35			農業研修生等宿泊施設	H2	30	木2	377	1	－		
36			ハツ沼農村公園トイレ	H17	15	木1	27	1	－		
37		交流施設	暮らし・交流体験施設	S3	92	木2	285	3	不明		
38			和合地区地域交流センター	H27	5	木2	496	1	－		
39	住宅・ 公園施設等	町営住宅	清水ハイツ	S57	38	RC3	841	3	－	H30・R1 全面改修	
40			みなみハイツ	H20	12	木2	790	2	－		
41			さゆりハイツ	H26	6	木2	999	2	－		
42			大谷東住宅	H26	6	木1	251	3	－		
43		特定公共賃 貸住宅等	みどりハイツ	H12	20	木1	424	3	－		
44			中郷ハイツ	H6	26	RC5	2,856	7	－		
45			蔵ハイツ大町	H21	11	木2	958	5	－		
46		公園・ 除雪施設	緑が丘公園トイレ	H30	2	PC1	21	1	－		
47			豊龍公園トイレ	H16	16	木1	69	1	－		
48			除雪基地	H12	20	木2	321	1	－		
49	除雪機械格納庫		H6	26	S1	457	2	－			
50	行政施設	庁舎等	朝日町役場・開発センター	S46	49	RC3	3,571	1	H25	H25 耐震改修工事	
51			第2庁舎	H2	30	S2	687	1	－		
52			公所会館	S56	39	木1	225	1	－		
53			第2公所会館	S52	43	RC1	231	1	－	H30 施設改修	
54			大谷往来館	H8	24	木1	116	1	－		
55			旧水本小学校	S63	32	木2	1,484	1	－		
56			旧上郷小学校	S56	39	RC3	1,153	1	－		
57			消 防 ポ ン プ・車庫等	第1分団第1部ポンプ庫	S58	37	S2	137	1	－	
58		第1分団第3部ポンプ庫		H27	5	木1	66	1	－		
59		第2分団第4部ポンプ庫		S60	35	S2	66	1	－		
60		第3分団第1部ポンプ庫		S58	37	CB1	37	1	－		
61		防災備蓄倉庫		R1	1	RC1	89	1	－		
62		役場消防ポンプ車等車庫		H8	24	S1	113	1	－		
63		役場バス車庫		H17	15	S1	93	1	－		
64		デマンド交通車両車庫		H23	9	S1	109	1	－		
65		山形直行バス車庫		H22	10	S1	66	1	－		
66		バス車庫		S60	35	S2	29	1	－		
合計							64,218	151			

※延床面積は、四捨五入により必ずしも合計は一致しない

2 劣化状況

(1) 現況劣化

主要な施設は目視による外観及び屋内調査（調査対象部位：屋根・屋上、外壁、開口部、内部、外構、給排水設備、電気防災設備）、小規模施設は目視による外観調査（調査対象部位：屋根・屋上、外壁、開口部）により実施し、部位ごとに a～d の 4 段階で評価を行います。

また、一部の主要な施設では、詳細な劣化調査結果との整合を図るものとします。

主要な施設の評価方法

- ・調査結果を基に評価点を設定するとともに、部位により建築物の安全性もしくは機能性に及ぼす影響度合いが異なることから、重要度係数を設定し現況劣化度を算出。

評価点・部位別重要度係数

調査箇所（部位）	評価点				重要度係数	
	a	b	c	d	係数	判断基準
屋根・外壁	20	40	60	80	1.00	特に安全性に係る
開口部・内部	20	40	60	80	0.75	安全性に係る
電気・防災・給排水設備等	20	40	60	80	0.50	計画的保全
外構	20	40	60	80	0.25	適正な保全

- ・現況劣化度は、部位別の評価点と重要度係数を掛け合せて合計した後、部位数で割ることにより算出。

$$\text{現況劣化度（加重平均値）} = \frac{\text{（各部位の評価点} \times \text{部位別重要度係数）の和}}{\text{部位数}}$$

- ・現況の劣化状況を把握しやすくするため、現況劣化度を A～D に区分し、現況の劣化状況を整理。

評価区分

評価区分	基準	現況劣化度	
		主要施設	小規模施設
A	概ね良好	24 点未満	25 点未満
B	やや劣化している	24 点以上 35 点未満	25 点以上 35 点未満
C	劣化が進んでいる	35 点以上 45 点未満	35 点以上 45 点未満
D	著しく劣化している	45 点以上	45 点以上

(2) 経年劣化

建物の築年数により（A）～（E）に区分した経年劣化の状況は、次のとおりです。

経年劣化評価区分

評価区分	築年数
(A)	10 年未満
(B)	10 年以上 20 年未満
(C)	20 年以上 30 年未満
(D)	30 年以上 40 年未満
(E)	40 年以上

調査区分

No.	類型	名称	調査区分	No.	類型	名称	調査区分
1	学習・スポーツ・学校施設	エコミュージアムコアセンター創遊館	●	39	町営住宅	清水ハイツ	○
2		立木研修センター	●	40		みなみハイツ	○
3		西部公民館	●	41		さゆりハイツ	○
4		北部公民館	●	42		大谷東住宅	○
5		大沼公民館	●	43	特定公共賃貸住宅等	みどりハイツ	○
6		町民体育館	●	44		中郷ハイツ	○
7		送橋体育館・旧送橋小学校	●	45		蔵ハイツ大町	○
8		上郷体育館	●	46	公園・除雪施設	緑が丘公園トイレ	○
9		水本体育館	○	47		豊龍公園トイレ	○
10		立木体育館	●	48		除雪基地	○
11		北部体育館	●	49		除雪機械格納庫	○
12		健康増進センター	●	50	庁舎等	朝日町役場・開発センター	●
13		町民プール	○	51		第2庁舎	●
14		大谷地区運動広場トイレ	○	52		公所会館	○
15		西部地区総合運動場トイレ	○	53		第2公所会館	●
16		西部地区コミュニティー広場トイレ	○	54		大谷往来館	●
17		熊ノ山農村公園トイレ	○	55		旧水本小学校	○
18	学校施設	西五百川小学校	●	56	行政施設	旧上郷小学校	●
19		宮宿小学校	●	57		第1分団第1部ポンプ庫	●
20		大谷小学校	●	58		第1分団第3部ポンプ庫	●
21		朝日中学校	●	59		第2分団第4部ポンプ庫	●
22	健康福祉施設	高齢者生産活動センター	●	60		第3分団第1部ポンプ庫	●
23		あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	●	61		防災備蓄倉庫	○
24		放課後児童クラブ	●	62		役場消防ポンプ車等車庫	○
25	福祉・観光・農林・交流施設	朝日自然観	●	63		役場バス車庫	○
26		わがまち交流・活力拠点施設	●	64		デマンド交通車両車庫	○
27		道の駅あさひまち	●	65		山形直行バス車庫	○
28		上郷ダムサイトトイレ	○	66		バス車庫	○
29		大沼の浮島	○				
30		カヌーランド倉庫・トイレ	○				
31		一本松公園トイレ	○				
32		りんご温泉	●				
33	農林施設	農業体験交流施設	●				
34		堆肥センター	●				
35		農業研修生等宿泊施設	○				
36		ハツ沼農村公園トイレ	○				
37	交流施設	暮らし・交流体験施設	●				
38		和合地区地域交流センター	●				

※●：主要な施設、○：小規模施設

※調査区分は前頁の（１）現況劣化に記載のとおり

劣化評価結果 1/2

項目		現況劣化			
		A	B	C	D
		概ね良好	やや劣化が進んでいる	劣化が進んでいる	著しく劣化している
経年劣化	(A) 10年未満	●西五百川小学校屋内運動場14 ●宮宿小学校屋内運動場14 ●放課後児童クラブ14 ●自然観スキー場ロッジしらくら14 ●道の駅あさひまち販売所棟14 ●道の駅あさひまち加工施設棟14 ●和合地区地域交流センター14 ●第1分団第3部ポンプ庫14 ●道の駅あさひまちトイレ棟16 ○自然観スキー場第2乗車券販売所15 ○さゆりハイツA棟15 ○さゆりハイツB棟15 ○緑が丘公園トイレ15 ○防災備蓄倉庫15 ○デマンド交通車両車庫16 ○大谷東住宅A棟20 ○大谷東住宅B棟20 ○大谷東住宅C棟20	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)
	(B) 10年以上20年未満	●わがまち交流・活力拠点施設もてなしセンター14 ●わがまち交流・活力拠点施設暮らしの語らい館14 ●あさひ保育園16 ●子育て支援センターあさひ16 ○熊ノ山農村公園トイレ兼倉庫15 ○一本松公園トイレ15 ○みなみハイツA棟15 ○みなみハイツB棟15 ○蔵ハイツ大町A棟15 ○蔵ハイツ大町B棟15 ○蔵ハイツ大町C棟15 ○蔵ハイツ大町D棟15 ○蔵ハイツ大町E棟15 ○大沼の浮島浮島休み処16 ○豊龍公園トイレ16 ○ハツ沼農村公園トイレ21 ○役場バス車庫24	●堆肥センター管理棟24 ●堆肥センター発酵棟29 ●堆肥センター籾殻保管庫29 ○あさひ保育園・子育て支援センターあさひ送迎バス車庫25 ○山形直行バス車庫25	(該当なし)	(該当なし)
	(C) 20年以上30年未満	●西五百川小学校プール管理棟20 ●大谷小学校プール管理棟20 ●大谷往来館23 ●宮宿小学校プールトイレ23 ○中郷ハイツごみ置場21	●農業体験交流ときめき体験館25 ●宮宿小学校プール管理棟26 ●大谷小学校校舎26 ●大谷小学校屋内運動場26 ●りんご温泉露天風呂27 ●りんご温泉直売所27 ●北部公民館本館29 ●りんご温泉資料館29 ●大沼公民館31 ●西部公民館本館32 ●りんご温泉本館33 ○北部公民館トイレ25 ○みどりハイツA棟25 ○みどりハイツB棟25 ○みどりハイツC棟25 ○中郷ハイツ浄化槽ブロー室25 ○自然観広場中央広場便所26 ○中郷ハイツポンプ庫26 ○役場消防ポンプ車等車庫26 ○町民プール管理棟28 ○町民プール機械棟30 ○自然観コテージS-520 30 ○自然観コテージS-521 30 ○自然観コテージS-522 30 ○農業体験交流施設格納庫30 ○中郷ハイツ住居棟30 ○中郷ハイツ集会室30 ○中郷ハイツ自転車置場30 ○中郷ハイツプロパン庫30 ○自然観コテージS-518 31 ○自然観コテージS-519 31	●自然観スキー場レストハウス大空36 ●エコミュージアムコアセンター創遊館38 ●立木体育館39 ●立木研修センター41 ○カヌーランド倉庫・トイレ35 ○除雪基地35 ○西部地区コミュニティ広場トイレ40	○除雪機械格納庫55 ○除雪機械格納庫倉庫55

※●：主要な施設、○：小規模施設、施設名称の末尾に付記した数値は現況劣化度

劣化評価結果 2/2

項目		現況劣化			
		A	B	C	D
		概ね良好	やや劣化が進んでいる	劣化が進んでいる	著しく劣化している
経年劣化	(D) 30年以上40年未満	○清水ハイツ住居棟15	●第3分団第1部ポンプ庫27 ●健康増進センター29 ●朝日中学校校舎普通教室棟29 ●上郷体育館30 ●旧上郷小学校30 ●自然観ホテルホテル32 ●第1分団第1部ポンプ庫34 ●第2分団第4部ポンプ庫34 ○暮らし・交流体験施設小屋25 ○自然観コテージA-502 26 ○自然観コテージA-510 26 ○自然観コテージB-513 26 ○自然観コテージB-514 26 ○自然観コテージB-515 26 ○大沼の浮島トイレ棟28 ○自然観ホテル食品庫30 ○自然観圧雪車格納庫30 ○自然観コテージA-508 30 ○自然観コテージB-511 30 ○自然観コテージB-512 30 ○農業研修生等宿泊施設30 ○暮らし・交流体験施設車庫30 ○清水ハイツプロパン庫30 ○清水ハイツプロワー室30 ○西部地区総合運動場トイレ31 ○自然観ホテルスーパーハウス31 ○自然観コテージA-505 31 ○自然観コテージA-507 31 ○自然観キャンプ場洗場1 32 ○自然観キャンプ場洗場2 32 ○自然観ホテル商品倉庫34	●自然観レストハウス大地35 ●第2庁舎36 ●宮宿小学校校舎37 ●送橋体育館・旧送橋小学校38 ○大谷地区運動広場トイレ兼倉庫35 ○自然観コテージA-503 35 ○自然観コテージA-501 36 ○自然観コテージA-504 36 ○自然観コテージA-509 36 ○自然観コテージB-516 36 ○自然観コテージB-517 36 ○自然観レストハウス気38 ○自然観キャンプ場便所1 39 ○自然観キャンプ場便所2 39 ○自然観広場芝生広場便所39 ○自然観コテージA-506 40 ○自然観キャンプ場管理舎41 ○自然観広場ワイン館そら41 ○上郷ダムサイトトイレ43 ○バス車庫45	(該当なし)
	(E) 40年以上	●第2公所会館16	●高齢者生産活動センター24 ●北部体育館25 ●暮らし・交流体験施設母屋25 ●町民体育館29 ●朝日中学校校舎特別教室棟29	●朝日中学校武道館35 ●西五百川小学校校舎41 ●朝日町役場本庁舎41 ●開発センター41 ●朝日中学校屋内運動場42 ●朝日中学校校舎技術室棟42	●朝日中学校部室56

※●：主要な施設、○：小規模施設、施設名称の末尾に付記した数値は現況劣化度



西五百川小学校屋内運動場



堆肥センター穀保管庫



大沼公民館



農業研修生等宿泊施設



送橋体育館・旧送橋小学校



朝日中学校武道館

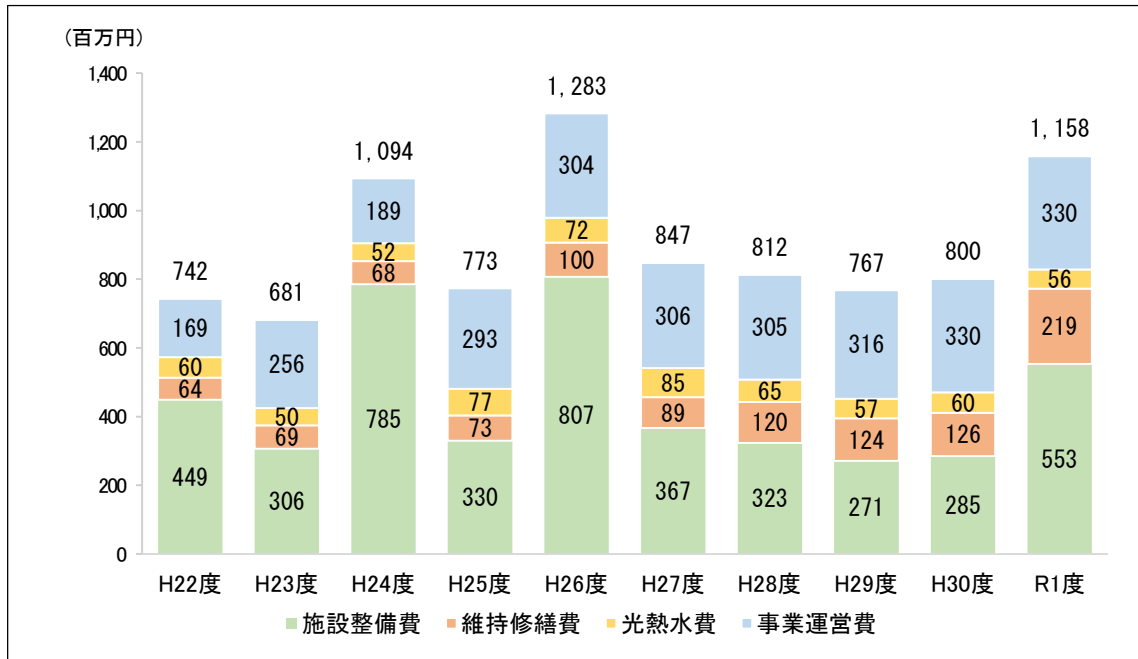
3 施設関連経費

(1) 施設関連経費

直近 10 年間の施設関連経費は 681 百万円～1,283 百万円で推移し、1 年あたりの平均額は 896 百万円となり、施設整備費が多かった年は平成 24 年度、平成 26 年度及び令和元年度となっています。

内訳をみると、朝日町役場・開発センターの耐震化工事を行った平成 24 年度は施設整備費が全体の 72% (785 百万円) を占め、今後、施設の老朽化に伴う経費の増大が懸念されます。

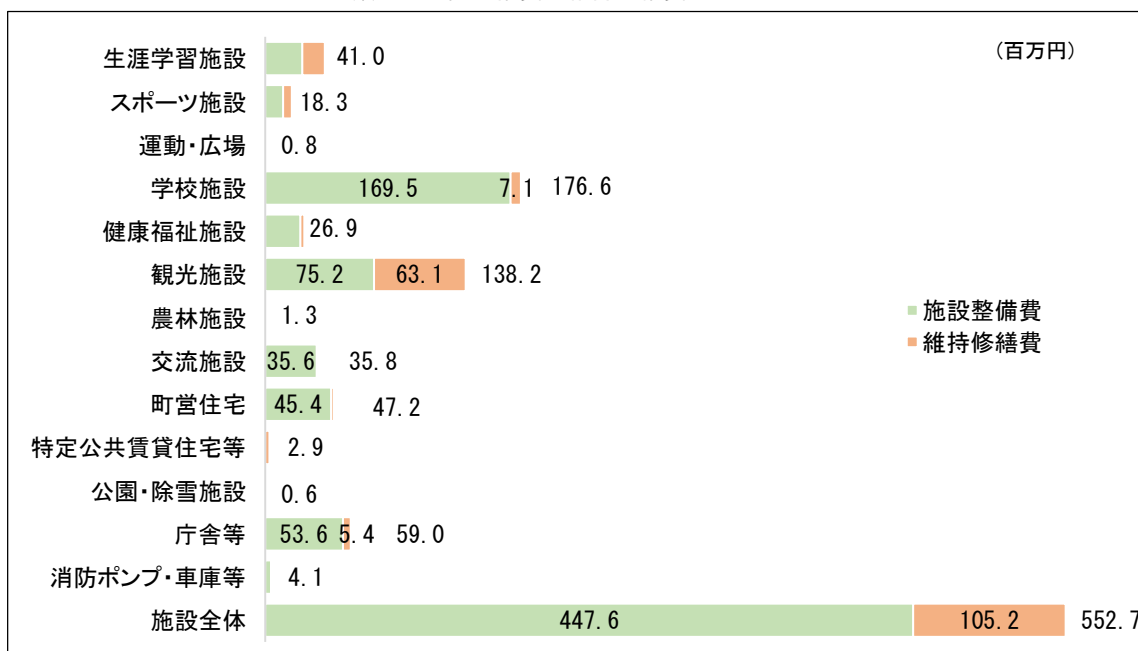
施設関連経費の推移



(2) 類型別施設整備・維持修繕費

直近 10 年間の年平均の施設整備費が 447.6 百万円、維持修繕費が 105.2 百万円となり、合計額は 552.7 百万円となっています。類型別にみると、最も費用が掛かっているのは学校施設の 176.6 百万円、次いで観光施設の 138.2 百万円、庁舎等の 59.0 百万円の順となります。

類型別施設整備費・維持修繕費 (年平均)

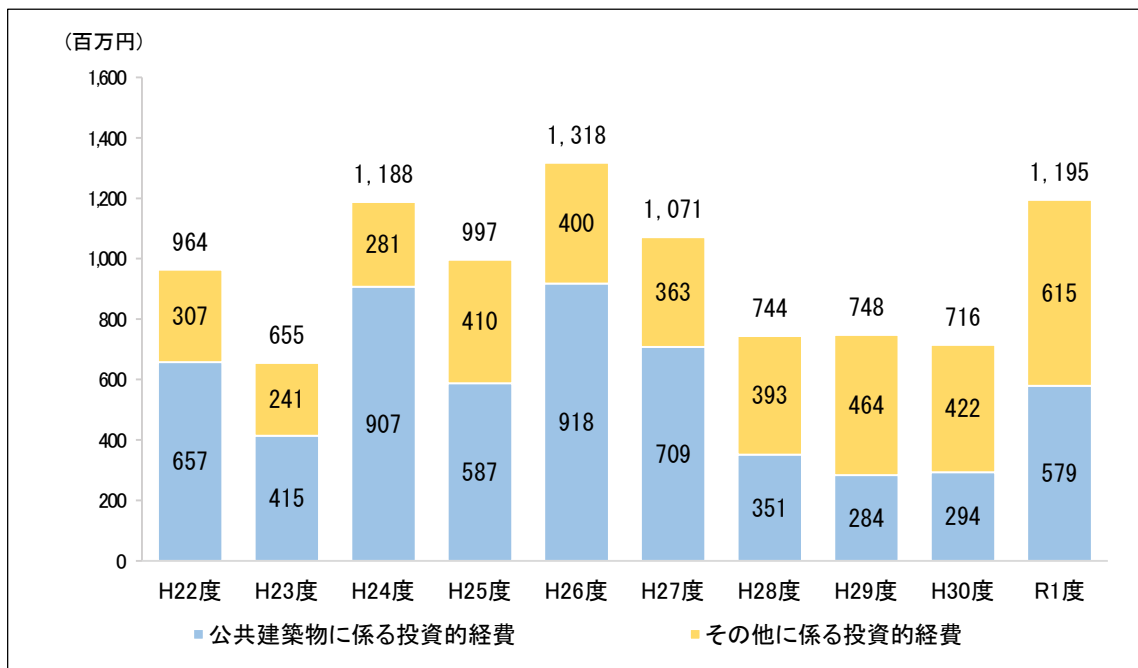


(3) 公共建築物に係る投資的経費

直近 10 年間の総投資的経費は 655 百万円～1,318 百万円で推移し、年平均は 959 百万円となっています。経費は増減があり、平成 26 年度は最も多い 1,318 百万円を投資しています。

公共建築物に係る投資的経費をみると、284 百万円～918 百万円で推移し、年平均は 570 百万円、最も多い平成 26 年度には 918 百万円を投資しています。10 年前と比較すると 78 百万円減少している一方、平成 30 年度よりも 285 百万円の増加となっています。

公共建築物に係る投資的経費の推移



立木研修センター



立木体育館



大谷小学校



朝日自然観ホテル



りんご温泉



暮らし・交流体験施設

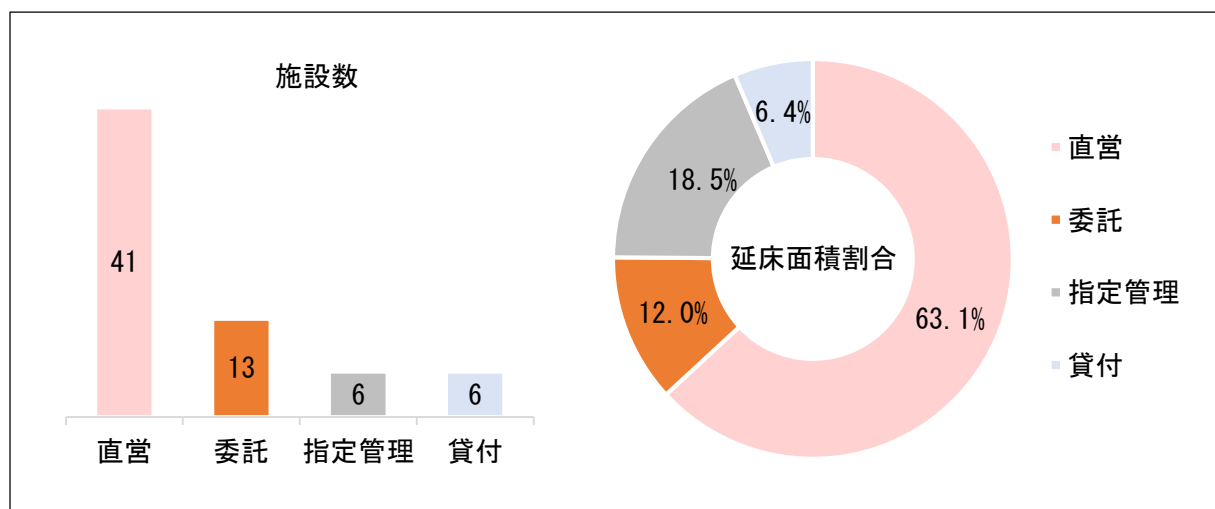


第2節 運営・利用状況

1 運営状況

運営形態別の施設数は、直営 41 施設、委託 13 施設（一部、指定管理を含む）、指定管理 7 施設、貸付 6 施設となっています。なお、わがまち交流・活力拠点施設は建物ごとに委託と指定管理に分かれて運営しています。延床面積別にみると、最も多い直営が 63.1%を占め、委託は指定管理より 2 倍以上の施設数ですが、延床面積の割合では指定管理が委託よりも多くなっています。

運営形態別施設数・延床面積割合



運営形態 1/2

No.	類型	所管	名称	運営形態	委託・指定管理・貸付者
1	生涯学習施設	教育文化課	エコミュージアムコアセンター創遊館	直営	
2		教育文化課	立木研修センター	直営	
3		教育文化課	西部公民館	直営	
4		教育文化課	北部公民館	直営	
5		教育文化課	大沼公民館	貸付	大沼区
6	スポーツ施設	教育文化課	町民体育館	直営	
7		教育文化課	送橋体育館・旧送橋小学校	直営	
8		教育文化課	上郷体育館	直営	
9		教育文化課	水本体育館	直営	
10		教育文化課	立木体育館	直営	
11		教育文化課	北部体育館	直営	
12		教育文化課	健康増進センター	直営	
13		教育文化課	町民プール	直営	
14	運動・広場	教育文化課	大谷地区運動広場トイレ	直営	
15		教育文化課	西部地区総合運動場トイレ	直営	
16		教育文化課	西部地区コミュニティー広場トイレ	直営	
17		教育文化課	熊ノ山農村公園トイレ	直営	
18	学校施設	教育文化課	西五百川小学校	直営	
19		教育文化課	宮宿小学校	直営	
20		教育文化課	大谷小学校	直営	
21		教育文化課	朝日中学校	直営	

運営形態 2/2

No.	類型	所管	名称	運営形態	委託・指定管理・貸付者
22	福祉・観光・農林・交流施設	健康福祉課	高齢者生産活動センター	指定管理	朝日町高齢者生産活動センター振興会
23		健康福祉課	あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	指定管理	社会福祉法人あさひ会
24		健康福祉課	放課後児童クラブ	指定管理	社会福祉法人あさひ会
25		総合産業課	朝日自然観	指定管理	株式会社朝日自然観
26		総合産業課	わがまち交流・活力拠点施設	委託・指定管理	朝日町観光協会・モアーズ
27		総合産業課	道の駅あさひまち	指定管理	株式会社りんごの森
28		総合産業課	上郷ダムサイトトイレ	委託	
29		総合産業課	大沼の浮島	委託	
30		総合産業課	カヌーランド倉庫・トイレ	委託	
31		総合産業課	一本松公園トイレ	委託	
32		総合産業課	りんご温泉	貸付	有限会社地球耕望
33		農林振興課	農業体験交流施設	直営	
34		農林振興課	堆肥センター	指定管理	有限会社朝日土づくり
35		農林振興課	農業研修生等宿泊施設	直営	
36		農林振興課	ハツ沼農村公園トイレ	直営	
37		政策推進課	暮らし・交流体験施設	委託	地域振興サポート会社まよひが企画
38		政策推進課	和合地区地域交流センター	貸付	和合連合区
39	住宅・公園施設等	建設水道課	清水ハイツ	委託	山形県住宅供給公社
40		建設水道課	みなみハイツ	委託	山形県住宅供給公社
41		建設水道課	さゆりハイツ	委託	山形県住宅供給公社
42		建設水道課	大谷東住宅	委託	山形県住宅供給公社
43		建設水道課	みどりハイツ	委託	山形県住宅供給公社
44		建設水道課	中郷ハイツ	委託	山形県住宅供給公社
45		建設水道課	蔵ハイツ大町	委託	山形県住宅供給公社
46		建設水道課	緑が丘公園トイレ	直営	
47		建設水道課	豊龍公園トイレ	直営	
48		建設水道課	除雪基地	直営	
49		建設水道課	除雪機械格納庫	直営	
50	行政施設	総務課	朝日町役場・開発センター	直営	
51		総務課	第2庁舎	直営	
52		総務課	公所会館	貸付	
53		総務課	第2公所会館	貸付	朝日町商工会
54		総務課	大谷往来館	貸付	大谷連合区
55		総務課	旧水本小学校	直営	
56		総務課	旧上郷小学校	直営	
57		総務課	第1分団第1部ポンプ庫	直営	
58		総務課	第1分団第3部ポンプ庫	直営	
59		総務課	第2分団第4部ポンプ庫	直営	
60		総務課	第3分団第1部ポンプ庫	直営	
61		総務課	防災備蓄倉庫	直営	
62		総務課	役場消防ポンプ車等車庫	直営	
63		総務課	役場バス車庫	直営	
64		政策推進課	デマンド交通車両車庫	直営	
65		政策推進課	山形直行バス車庫	直営	
66		総務課	バス車庫	直営	

2 利用状況

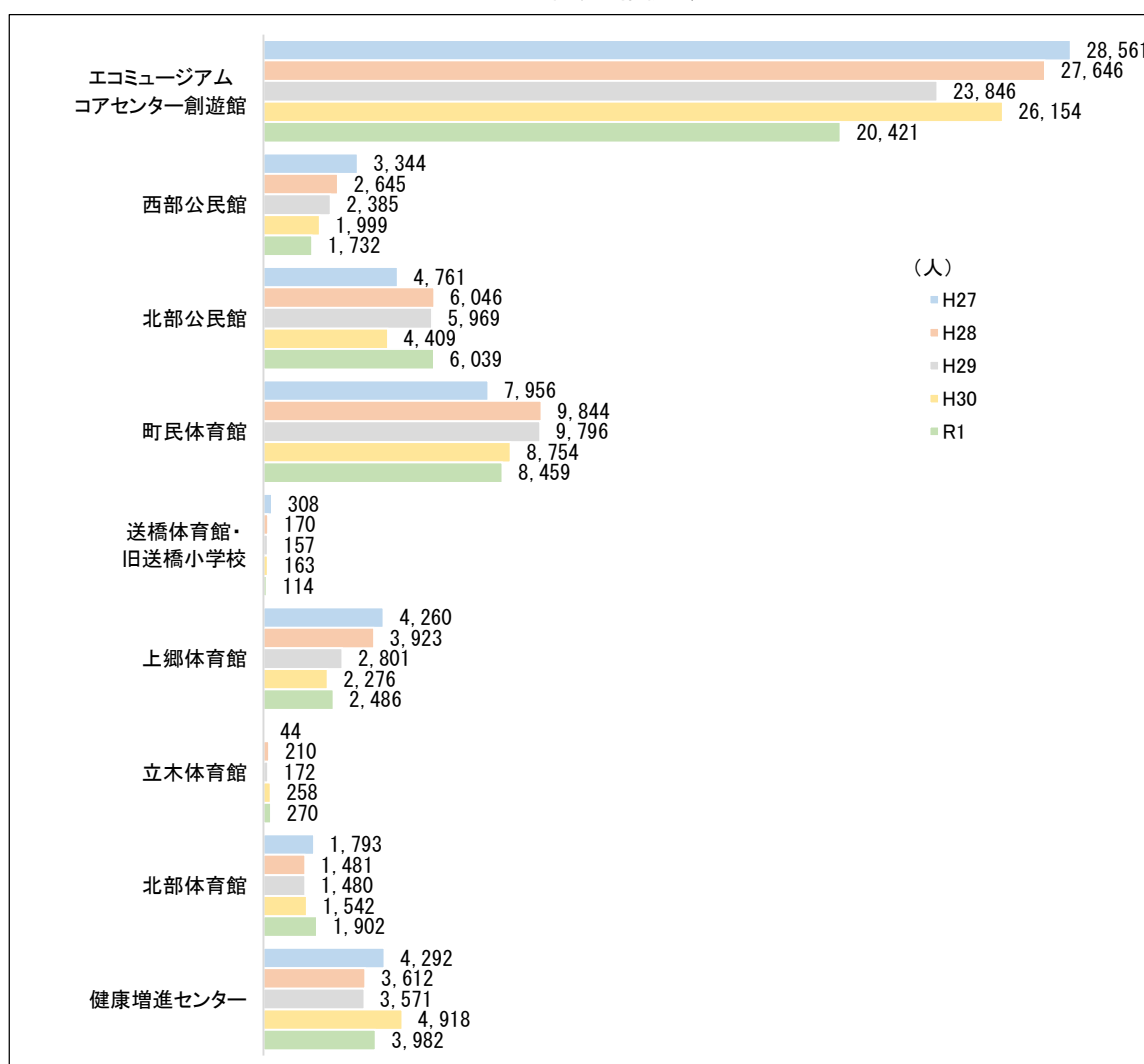
(1) 生涯学習施設及びスポーツ施設

生涯学習施設 4 施設の年間利用者数は、エコミュージアムコアセンター創遊館では約 20,000 人から 28,000 人、北部公民館は約 4,400 人から 6,000 人、西部公民館は約 1,700 人から 3,300 人の利用者がいます。また、立木研修センターでは 4 人が通年の利用契約を交わしています。

スポーツ施設 6 施設では、上郷体育館では約 2,200 人から 4,200 人、健康増進センターが約 3,500 人から 4,900 人の年間利用者がある一方、送橋体育館・旧送橋小学校及び立木体育館は約 100 人から 300 人の利用者数となっています。

生涯学習施設及びスポーツ施設ともに年間利用者数は減少傾向にありますが、中でも利用者数が少ない施設は、送橋体育館・旧送橋小学校、立木体育館と契約による特定利用者がいる立木研修センターの 3 施設となります。

年間利用者数の推移 1/2



※生涯学習施設 4 施設：エコミュージアムコアセンター創遊館、立木研修センター、西部公民館、北部公民館
 スポーツ施設 6 施設：町民体育館、送橋体育館・旧送橋小学校、上郷体育館、立木体育館、北部体育館、
 健康増進センター

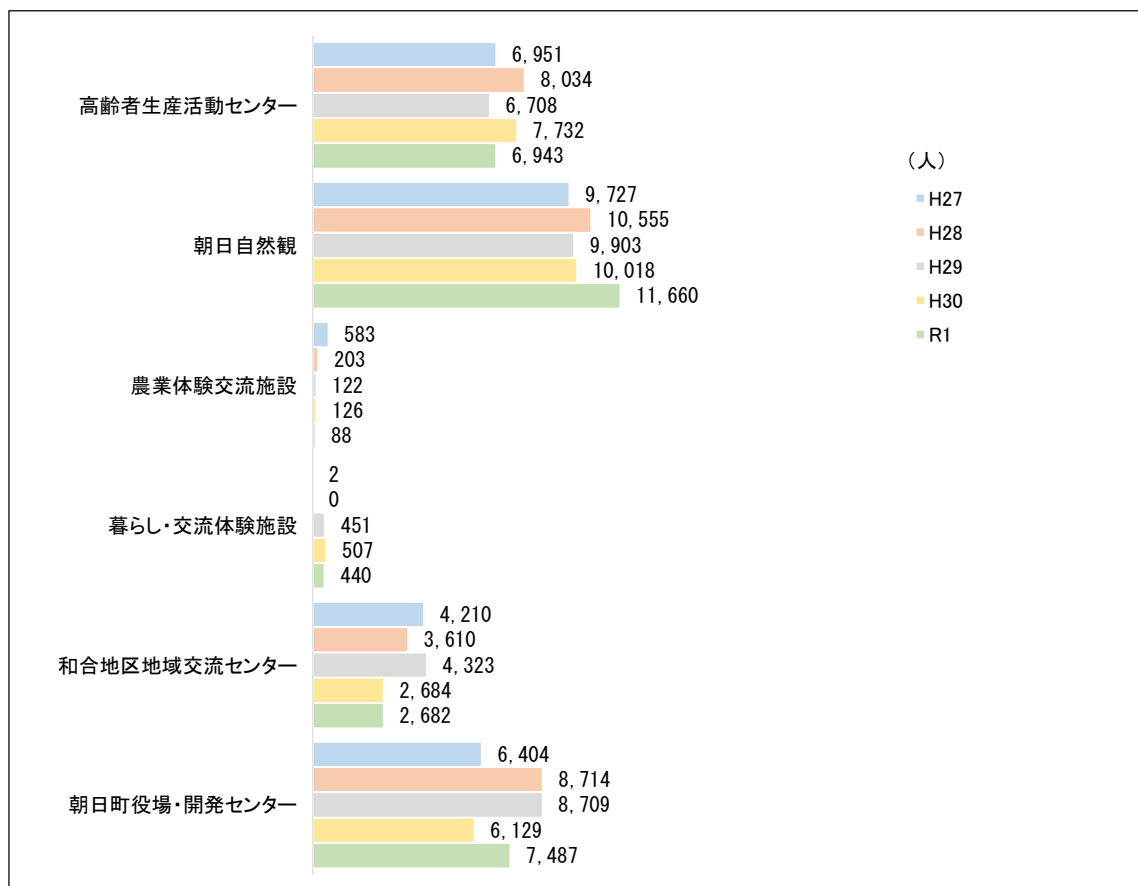
※立木研修センター及び町民プールは年間利用者数を集計していないためグラフに含めない

(2) 健康福祉施設、観光施設及び農林施設等

健康福祉施設、観光施設及び庁舎等はそれぞれ 1 施設のみであり、各施設の年間利用者数は、高齢者生産活動センターが約 6,700 人から 8,000 人、朝日自然観は約 9,700 人から 11,000 人、朝日町役場・開発センターでは約 6,100 人から 8,700 人が利用し、横ばい傾向もしくは増加傾向にあります。

農林施設と交流施設はそれぞれ 2 施設あり、農業体験交流施設と和合地区地域交流センターで減少傾向にある一方、暮らし・交流体験施設は約 440 人から 500 人で横ばい傾向にあります。また、農業研修生宿泊施設では通年利用者と一時利用者がおり、各年 3 人～19 人と利用にばらつきがあります。

年間利用者数の推移 2/2



※健康福祉施設 1 施設：高齢者生産活動センター

観光施設 1 施設：朝日自然観

農林施設 2 施設：農業体験交流施設、農業研修生等宿泊施設

交流施設 2 施設：暮らし・交流体験施設、和合地区地域交流センター

庁舎等 1 施設：朝日町役場・開発センター

※農業研修生宿泊施設は年間利用者数を集計していないためグラフに含めない

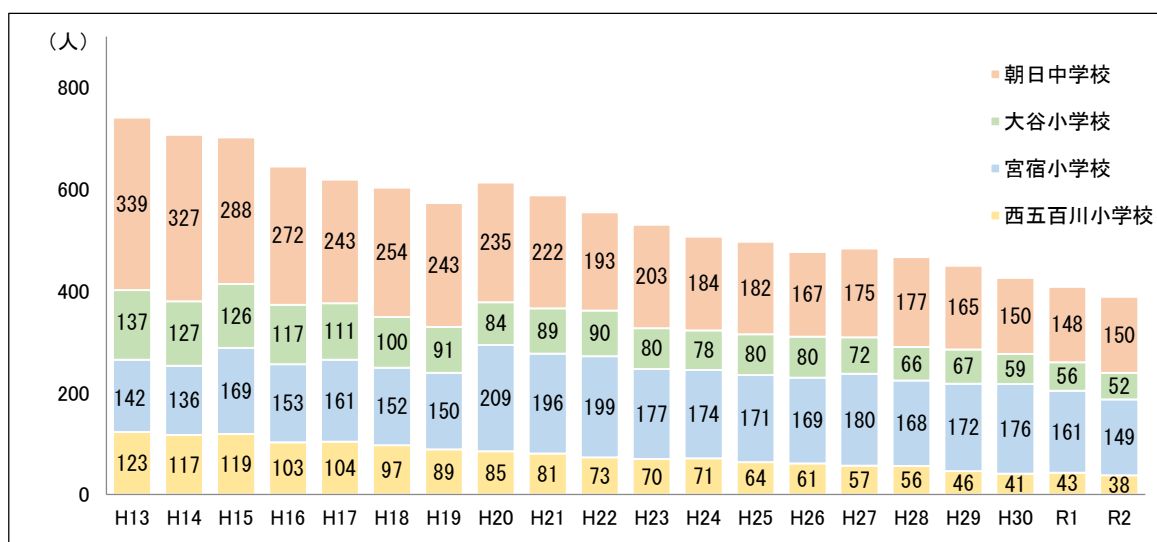
(3) 学校施設

児童・生徒数は、町の中心部にある宮宿小学校は、小学校の統合により平成 20 年度までは増加傾向にありましたが、以降は減少傾向になっております。一方、西五百川小学校、大谷小学校及び朝日中学校は 20 年前の平成 13 年と比較すると、児童・生徒数は半分以上まで減少している状況になっています。

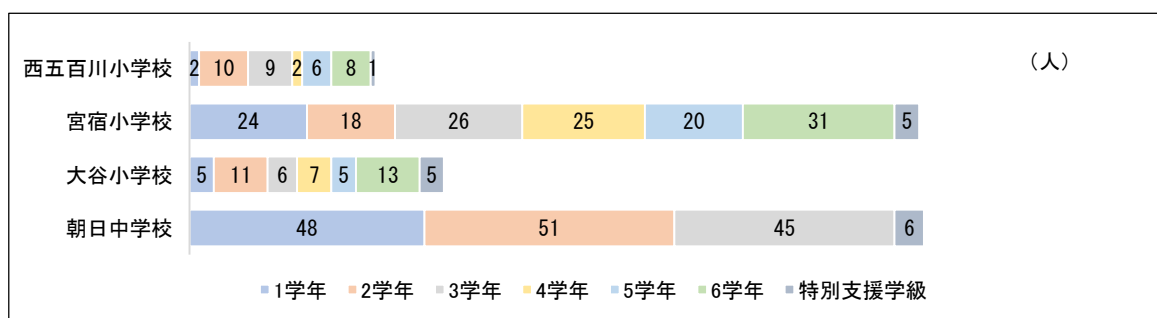
特別支援学級を除く普通学級の平均児童数は、西五百川小学校が 9.3 人、大谷小学校が 9.4 人、宮宿小学校が 24.0 人、朝日中学校が 24.0 人となっています。

学年別学級数は、児童数が最も多い宮宿小学校では各学年 1 学級ありますが、西五百川小学校と大谷小学校は複式学級で編成されています。教室数は特別教室数が多い状況です。

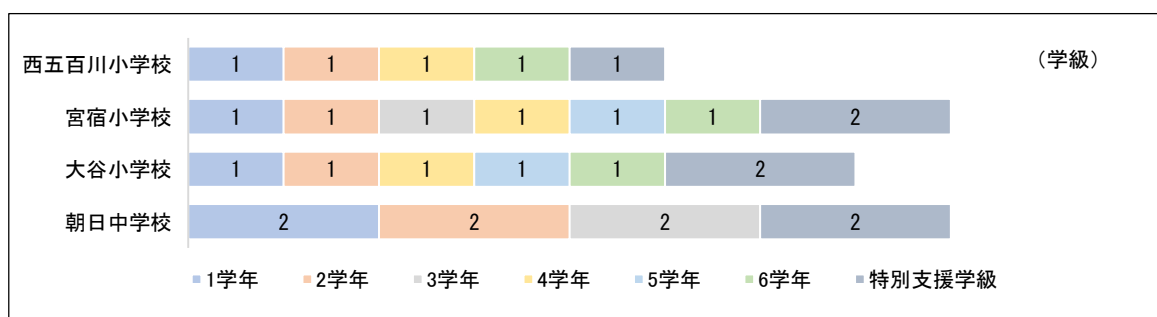
児童・生徒数の推移（各年5月1日現在）



学年別児童・生徒数の1学年あたりの児童・生徒数（令和2年度）



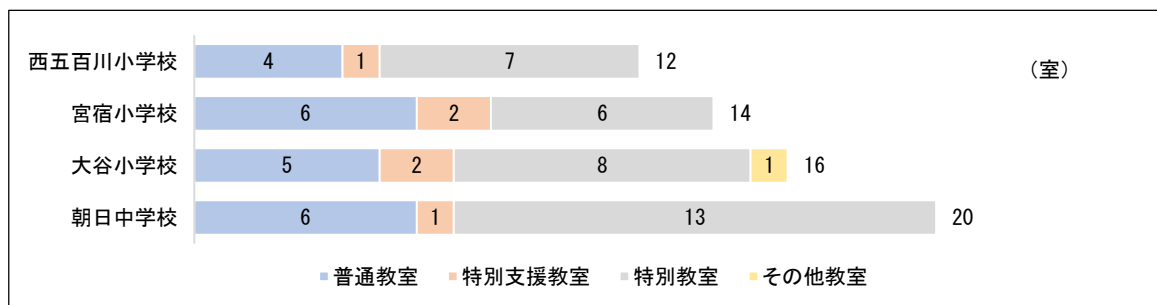
学年別学級数（令和2年度）



※西五百川小学校は3・4年生、5・6年生で複式学級

※大谷小学校は3・4年生で複式学級

教室数（令和2年度）



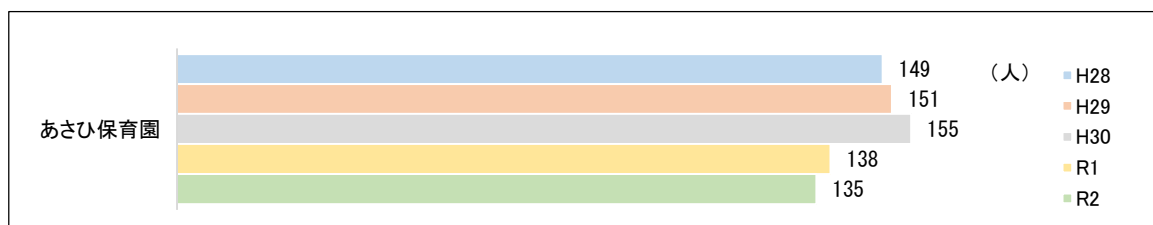
(4) 子育て支援施設

あさひ保育園の園児数は定員 200 人に対し、過去 5 年間は 155 人から 135 人で推移し、平成 30 年の 155 人から減少傾向にあります。

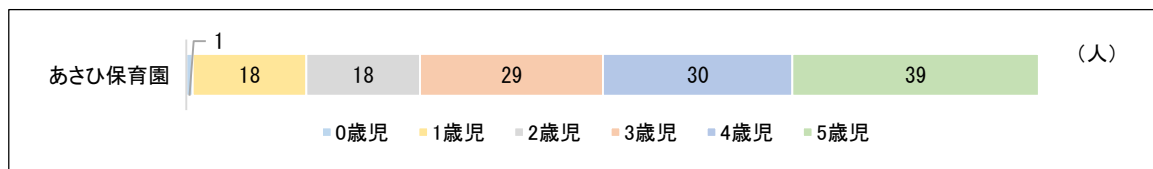
令和 2 年 4 月 1 日現在の年齢別で見ると、5 歳児から 0 歳児に向かって 39 人から 1 人と少なくなっています。

子育て支援センターあさひの利用者数は 12,419 人から 8,018 人の減少傾向にある一方、放課後児童クラブは 4,736 人から 7,755 人に増加傾向にあります。

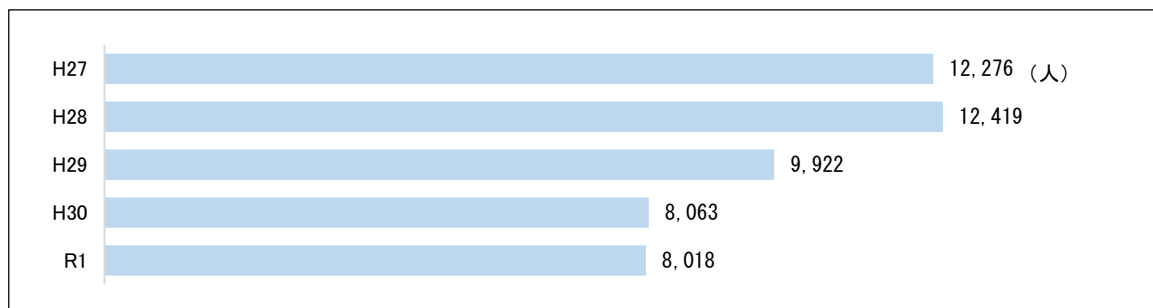
あさひ保育園園児数の推移



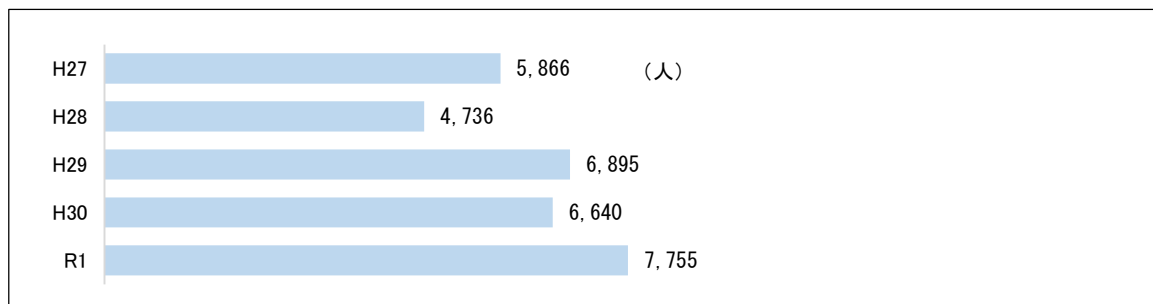
あさひ保育園の年齢別園児数（令和2年4月1日現在）



子育て支援センターあさひの利用者数の推移



放課後児童クラブの利用者数の推移

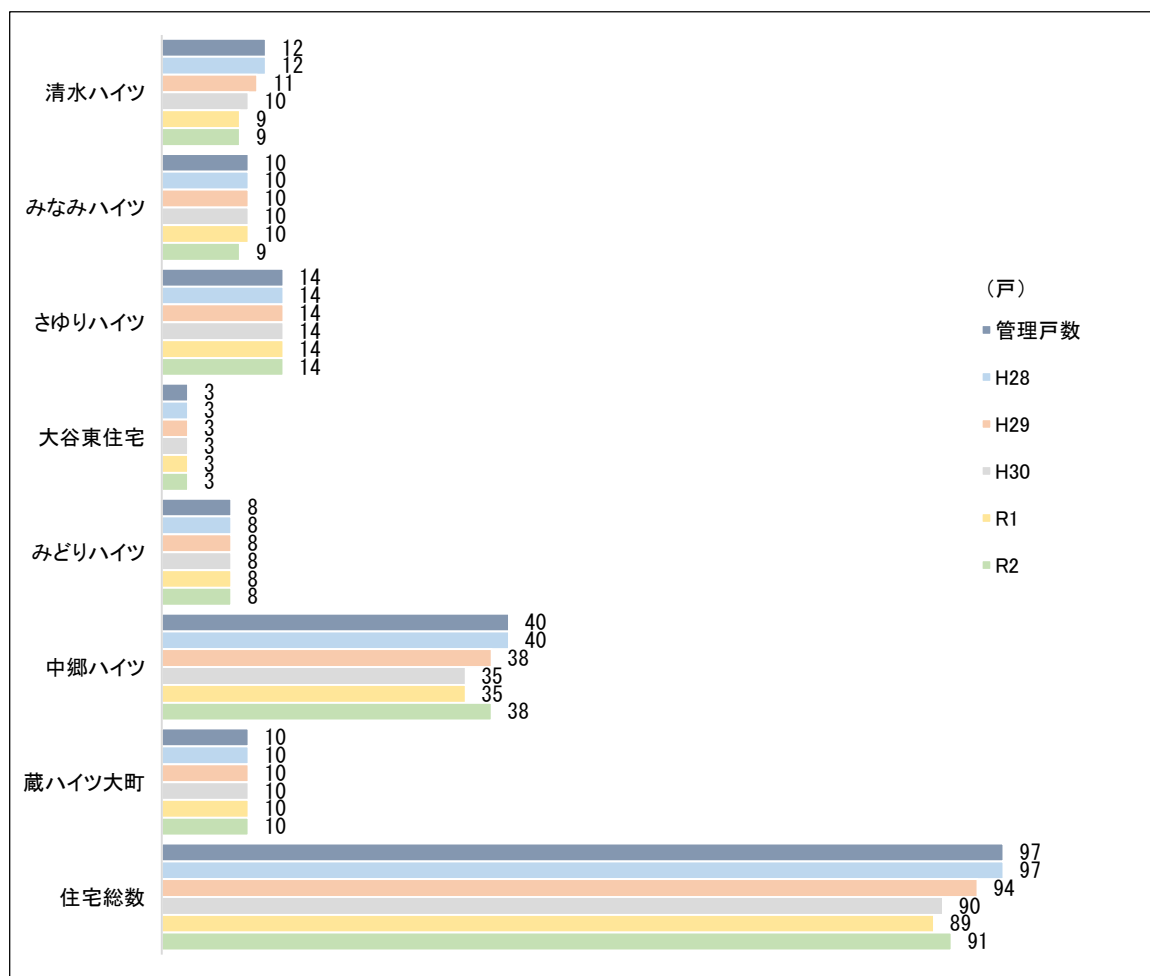


(5) 住宅施設

町営住宅である清水ハイツ、みなみハイツ、さゆりハイツ及び大谷東住宅の入居戸数は、ほぼ横ばい傾向となっています。また、特定公共賃貸住宅等のみどりハイツ、中郷ハイツ及び蔵ハイツ大町の入居戸数もほぼ横ばい傾向となっています。

入居率は概ね 90%から 100%を維持していますが、清水ハイツでは平成 30 年度・令和元年度の施設改修に伴い、一時的に 75%まで減少となっています。

入居戸数の推移

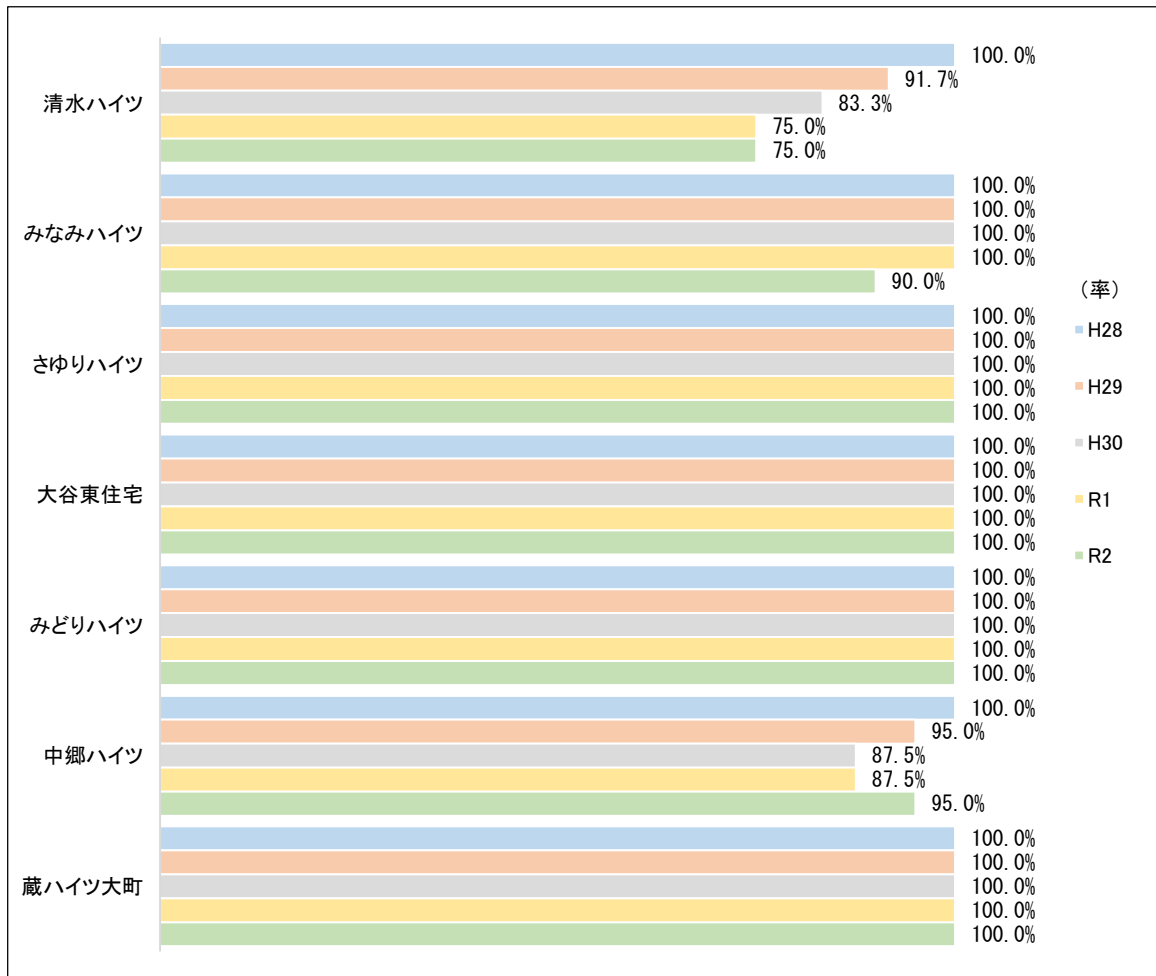


清水ハイツ



みなみハイツ

入居率の推移



さゆりハイツ



大谷東住宅



みどりハイツ



蔵ハイツ大町



中郷ハイツ



中郷ハイツ集会室



第3節 公共施設の課題

■ 人口減少への対応

- ・総人口は平成12年以降一貫して減少傾向にあり、平成27年から令和27年の30年間で3,700人減少（平成27年と比較し52.0%の減少）することが見込まれています。
- ・人口の減少による施設利用の低下を踏まえ、人口減少に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・将来的には、町全域にわたり分散し配置している施設を人口分布に応じて再編することや集約による利用の最適化を図ることが重要となります。

■ 少子化への対応

- ・年少人口は平成27年から令和27年の30年間で469人減少（平成27年と比較し67.5%の減少）することが見込まれており、人口減少による施設需要の変化に対応した施設配置のあり方を検討する必要があります。
- ・学校施設では児童・生徒数の減少により、ゆとりができた教室の他の用途を含めた活用や子育て施設としての複合化等が必要となります。

■ 老朽化と安全性・耐久性向上への対応

- ・耐震性が不明の施設が2施設、築30年以上経過している施設が公共施設全体の48.6%（延床面積）に達しており、特に学校施設や庁舎等の割合が高く、老朽化が進んでいます。
- ・一般に、鉄筋コンクリート造の建物は築30年程度で大規模改修、築60年程度で更新（建替）が必要になるといわれていることから、今後、大規模改修や耐震化により、安全確保や耐久性向上を図っていく必要があります。

■ 施設立地の最適化

- ・現状の施設は、本町の中心地域である宮宿に集積しているほか、最上川沿いの集落地である西五百川地区と大谷地区を拠点に立地しています。
- ・今後は、人口分布等の変化により施設の利用状況も変化していくことが予想されることから、施設立地の集積を図りつつ、立地の最適化を進める必要があります。

■ 施設サービスの適正化・効率化

- ・利用しやすい施設に対する住民ニーズを踏まえ、更新時における施設の集約化を行い、施設サービスの適正化を図る必要があります。
- ・運営時間の延長や提供する事業内容の改善・拡充など、民間ノウハウの活用等を含めた事業運営の効率化とサービス水準の向上に向けた取組みを図っていくことも重要となります。

■ 計画的・戦略的な施設の運営

- ・現在の運営形態である「直営」「委託」「指定管理」「貸付」の見直しを行い、役割を終えた施設の廃止と効率的な運営を図ることが必要となります。
- ・更に、施設の譲渡による民営化を含め、利用需要に対する運営の多様化を図りつつ、今後の施設の改修・更新時期を見通した中長期的な視点による計画的・戦略的なマネジメントに取り組む必要があります。

■ 効果的で効率的な施設の管理

- ・改修・更新のやり方を従来どおり続けていくと改修・更新に掛かる経費は莫大となり、財政状況や行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されます。
- ・現在の投資額以上のコストを要することが予想される中、総合的な視点で優先順位を付け、「選択と集中」により、限られた資源を効果的に活用することが必要となります。
- ・更に、各施設の使用年数を設定し、経過時（更新時）における対応（建替、複合・集約化、廃止・除却等）を明確にすることも必要となります。

■ 全庁的なデータ管理体制の構築と官民協働・連携

- ・減価償却費や人件費等を含めた施設の維持管理に関するコストに加え、利用・効果に関する状況等のデータについても、的確に把握・分析する必要があり、施設のデータベース化を含めたデータの一元管理や関係部局の横断的な体制による整備等を含めた全庁的なデータの整理・収集、管理体制を整備することが必要となります。
- ・マネジメントを行う上では、施設の実態に関する問題意識や情報を市民と共有しながら推進することが重要となりますが、そのためには施設に掛かるコストや利用の実態に関するデータの分析評価の結果を分かりやすく開示し、住民との協働や民間事業者等との連携により、施設の改善策やあり方を検討していくことが求められています。

公共施設整備の基本方針

第3章

第1節 理念・基本原則

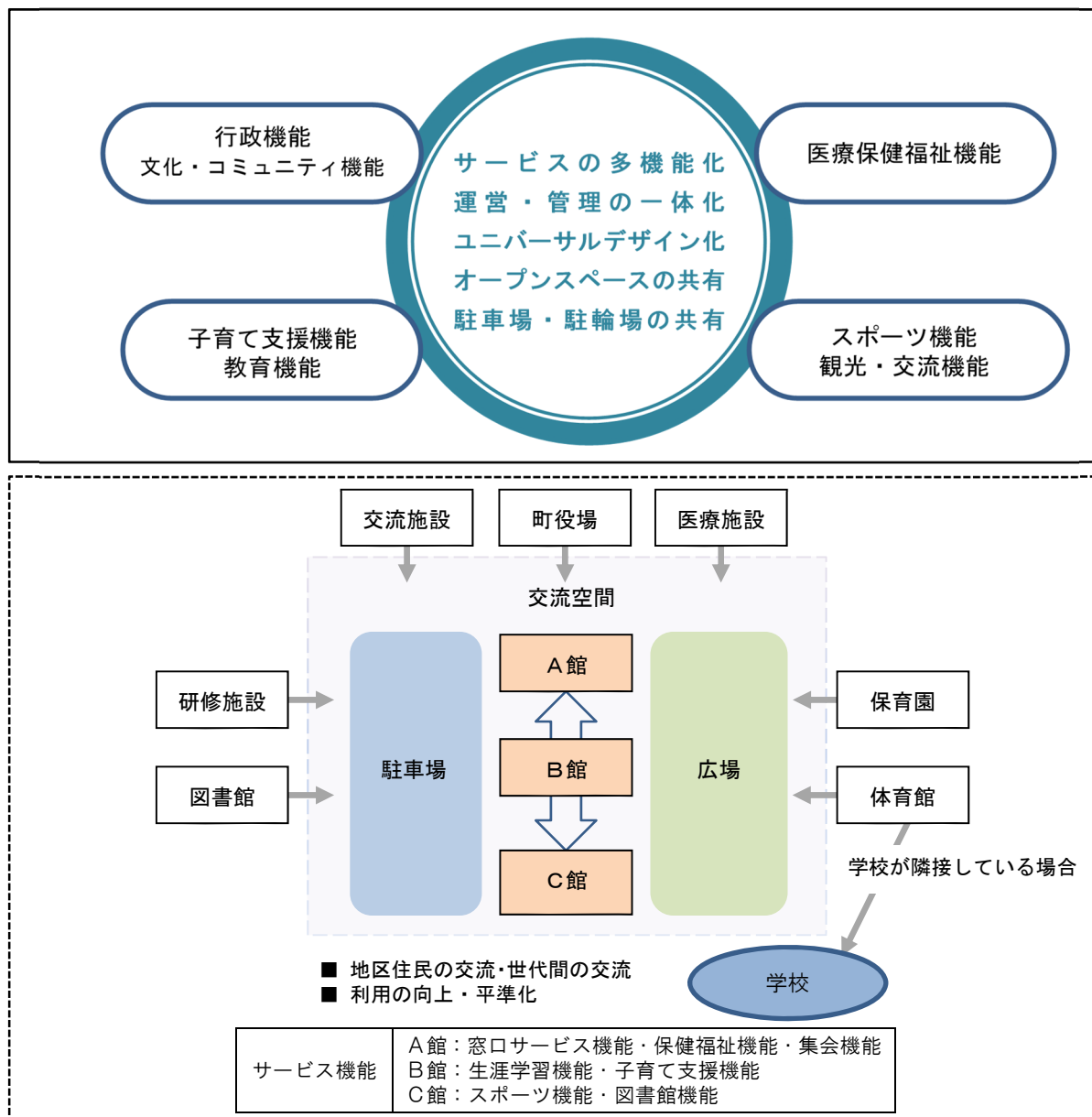
1 理念

本計画では、住民が利用しやすく、また、利用したくなる施設の最適な配置を図っていくため、分散しているサービス機能を同じ建物内に複合化（複合施設）することや、同じ敷地・隣接地に集約化（併設）することにより、サービスが多機能化しつつも運営・管理が一体化され、施設全体が共有するオープンスペースや駐車場等のある交流空間の創出を公共施設整備の理念として設定します。

また、公共施設の改修や更新等を行う際には、住民のニーズや関係法令等にけおけるユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、誰もが安全・安心で快適に利用できるようユニバーサルデザインへの対応に努めます。

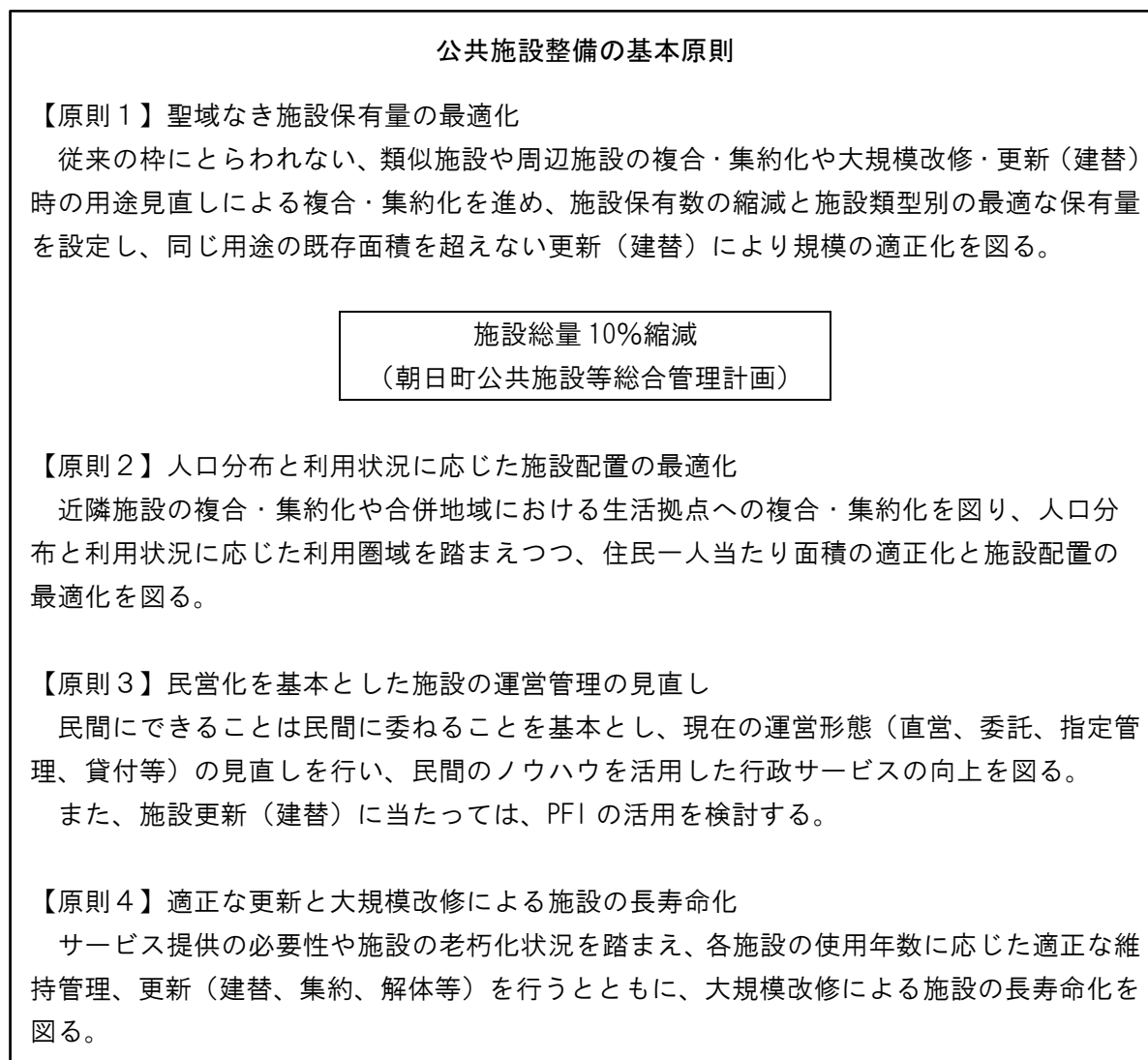
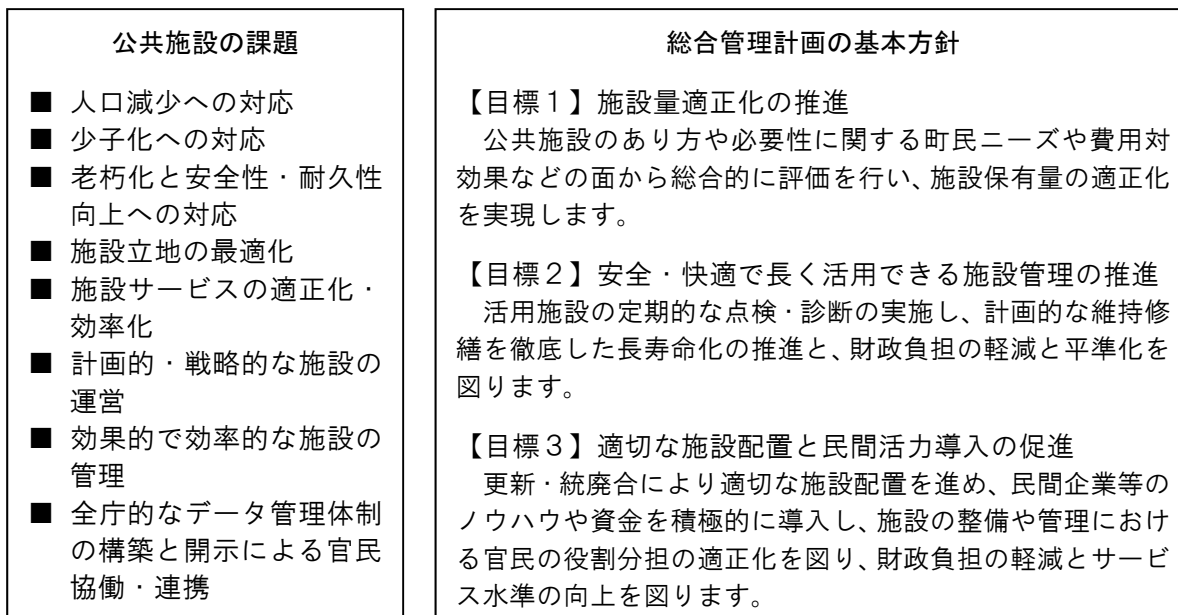
特に朝日町役場・開発センターは本町の行政機能の中核であり、業務の多様化や高度情報化社会において、より一層の行政サービスを提供する必要があることから、ユニバーサルデザインに対応することで、誰もが利用しやすく、親しまれる空間づくりに努めます。

交流空間のイメージ



2 基本原則

公共施設の課題、「総合管理計画」の基本方針を踏まえ、公共施設整備における基本原則を、以下に掲げます。



第2節 基本方針

1 運営・管理の方針

(1) 委託

直営施設は、施設の運営、建物の維持管理に係る業務の一部について、委託による運営・管理を進め、施設サービスの充実や経費削減を図ります。

(2) 指定管理

直営施設や委託により運営・管理する施設は、指定管理者制度を導入し、施設サービスの効率化や経費削減を図ります。

(3) 貸付

委託や指定管理者制度により運営・管理する施設で、同じ用途の民営施設が立地する施設は、貸付けによる運営・管理を進め、施設サービスの民営化による経費削減を図ります。

(4) 譲渡・廃止

指定管理者制度や貸付により運営・管理し、同じ用途の民営施設が立地する施設は、適正な施設サービスの維持を前提とした施設譲渡による民営化を進めます。譲渡ができない場合は用途を廃止し、解体とします。

2 適正配置の方針

(1) 類似施設の集約

利用目的が同じような施設は、各施設の利用状況や立地状況を踏まえ、大規模改修・更新時に集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

(2) 近隣施設の複合・集約化

立地が近接する施設は、施設の老朽化や利便性を考慮しつつ複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

(3) 拠点への複合・集約化

身近な施設が集積している場所への立地誘導を進めるとともに、中心拠点・地域拠点への複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。

3 更新の方針

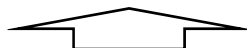
(1) 目標使用年数

建築物は多くの部位・設備機器によって構成され、その耐用年数はそれぞれ異なりますが、年数が最長である構造躯体の耐用年数が建築物の目標使用年数となります。

目標使用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別規模別に次のように設定します。

目標使用年数

構造種別	規模	使用年数	設定根拠
SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）	概ね1,000㎡以上	80年	普通品質の上限値を採用
RC（鉄筋コンクリート造）	概ね1,000㎡未満	60年	普通品質の代表値を採用
PC（プレキャストコンクリート造）	100㎡未満	50年	普通品質の下限値を採用
S（重量鉄骨造）	概ね1,000㎡以上	80年	普通品質の上限値を採用
	概ね1,000㎡未満	60年	普通品質の代表値を採用
	100㎡未満	50年	普通品質の下限値を採用
LS（軽量鉄骨造）、P（プレハブ造）	—	50年	軽量鉄骨の上限値を採用
CB（コンクリートブロック造）	—	50年	ブロック造の下限値を採用
W（木造）	概ね1,000㎡以上	80年	学校・官庁の上限値を採用
	概ね1,000㎡未満	50年	住宅・事務所・病院の上限値を採用



建築物全体の望ましい目標耐用年数の級（日本建築学会）

		SRC RC		S			ブロック造 れんが造	木造
				重量鉄骨		軽量鉄骨		
		高品質 の場合	普通品質 の場合	高品質 の場合	普通品質の 場合			
学校 官庁	級	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上
	代表値	100 年	60 年	100 年	60 年	40 年	60 年	60 年
	範 囲	80～120 年	50～80 年	80～120 年	50～80 年	30～50 年	50～80 年	50～80 年
住宅 事務所 病院	級	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
	代表値	100 年	60 年	100 年	60 年	40 年	60 年	40 年
	範 囲	80～120 年	50～80 年	80～120 年	50～80 年	30～50 年	50～80 年	30～50 年

※Yは建築物全体の目標耐用年数の級を表す

(2) 更新の方針

目標使用年数に達した施設の更新については、適正配置の方針及び各施設の立地特性や規模等を考慮しつつ、以下のとおりとします。

更新時の方針

施設	方針
代表する施設	類似施設や周辺施設の機能の集約化を図りつつ、適正規模の建替えを行う。
延床面積や敷地規模の大きい施設	周辺施設の機能の集約化を図りつつ、人口動向・利用状況に配慮して適正規模の建替えを行う。
地区単位に設置されている施設	類似施設の機能の集約化を図りつつ、人口動向・利用状況に配慮して適正施設数、適正規模の建替えを行う。
小規模施設	人口動向・利用状況に配慮して、同規模程度の建替えを行う。

4 点検・修繕の方針

(1) 定期点検及び日常点検の実施

ストックの状態を適切に把握するため、各種法定点検及び法定点検に準じた点検（法定対象外）を定期的の実施し、建物の老朽化や住棟ごとに異なる劣化による事故等を未然に防ぐとともに、修繕や改善の効率的な実施につなげます。

また、「建築物点検マニュアル（国土交通省）」等を参考にして、外観目視による日常点検を適宜実施します。

(2) 点検結果等に基づく修繕の実施

耐用年数まで活用可能な状態を維持管理していくために、定期点検、修繕周期、過去の修繕・改修履歴に基づき、計画的に修繕を実施していきます。

(3) 点検結果や実施した修繕・改修内容のデータ管理

管理している施設の整備・管理に関するデータを個別施設単位に整理するものとし、施設状況、建物状況等のデータベース化を行います。

また、修繕・改修履歴データも併せて記載し、履歴を確認できるようにします。

日常点検項目

部位		点検項目
建築物外部	基礎	基礎の沈下等の状況
		基礎の劣化及び損傷の状況
	土台	土台の沈下等の状況
		土台の劣化及び損傷の状況
	屋根	屋根の劣化及び損傷の状況
		雨樋の劣化及び損傷の状況
	外壁	躯体等
		木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
		外装仕上材等
		金属系パネルの劣化及び損傷の状況
敷地及び地盤	窓サッシ等	窯業系サイディングの劣化及び損傷の状況
		シーリングの劣化及び損傷の状況
	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況
		建具
	建具	玄関ドアの劣化及び損傷の状況
		地盤
	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況
		敷地
	敷地	敷地内の排水の状況
		敷地内の通路
	通路	敷地内の通路の支障物の状況
		塀
	塀	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況
		金属フェンス等の劣化及び損傷の状況
	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況
		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況
	屋外工作物	遊具、ベンチ等の劣化及び損傷の状況
		屋外電気設備
	屋外電気設備	外灯の不具合、劣化及び損傷の状況
		通路・車路
	通路・車路	平面駐車場の劣化及び損傷の状況
		車路・歩道、スロープ、屋外階段の劣化及び損傷の状況
	付属施設	自転車置場、ゴミ集積所等の劣化及び損傷の状況

5 改修の方針

(1) 長寿命化を図るべき施設

長寿命化を図るべき施設は、目標使用年数を 80 年と設定した施設とし、大規模改修、計画改修により長寿命化を図ります。

(2) 大規模改修

施設の機能や利用状況などの特性に応じて、適切な周期で改修を行い施設機能の維持及び整備水準の向上を図り、目標使用年数 80 年到達まで長寿命化を図ることとします。

大規模改修は、築 40 年（目標使用年数の中間年）を目途に実施するものとし、機能維持・回復のための工事に加え、省エネ性能や行政サービスの向上などの社会的欲求の高まりに対応するため、内装改修や設備改修による機能向上も含めた改修を実施します。

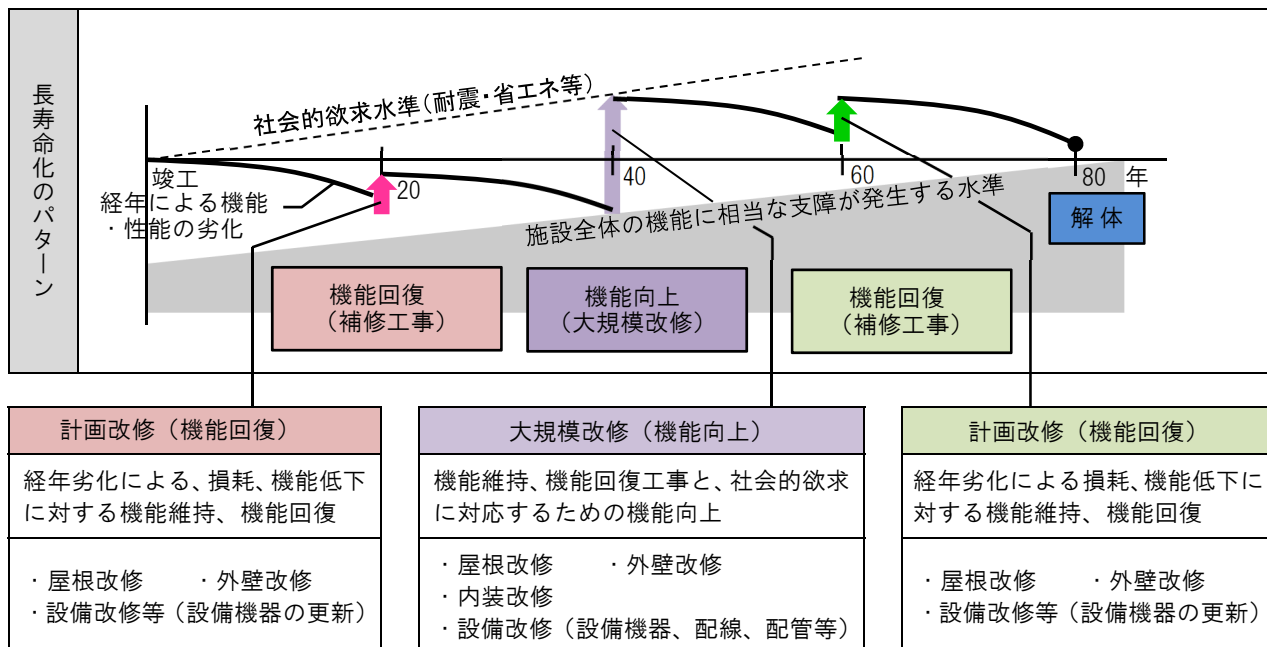
ただし、目標使用年数到達までの残存年数が少ない施設は、大規模改修を実施せず、劣化状況を踏まえ、計画改修を実施します。

(3) 計画改修

目標使用年数を 80 年と設定した施設は、経年劣化による消耗や機能低下に対する機能維持・回復のため、屋根改修、外壁改修、設備改修（設備機器の更新）等の補修工事を築 20 年、築 60 年を目途に実施するものとします。

目標使用年数を 60 年と設定した施設は、築 20 年、築 40 年を目途に実施するものとし、残存年数が少ない施設については、劣化状況を踏まえ、必要に応じて実施します。

【長寿命化のための改修サイクル】



第3節 類型別方針

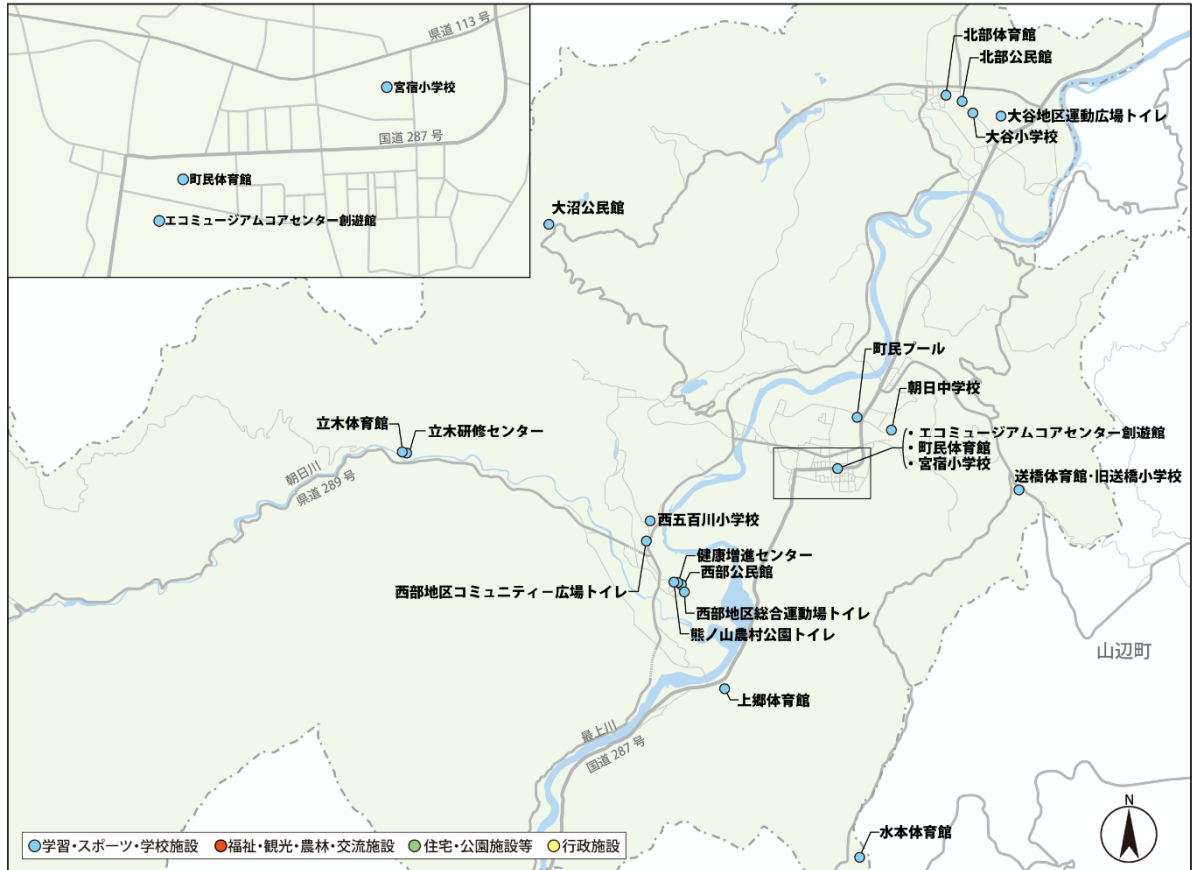
1 学習・スポーツ・学校施設

- ①生涯学習施設は不特定利用のある施設であり、利用状況や利用圏域に配慮し、運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。
- ②スポーツ施設は不特定利用のある施設であり、拠点エリアに立地する町民体育館や旧小学校の体育館など老朽化が進んでいる施設も多いことから、人口動向を踏まえ、近隣集約化・拠点集約化を設定します。
- ③運動・広場は広場や野球場等のトイレであり、必要不可欠な施設であることから、機能を維持し、適切な管理を行います。
- ④学校施設は中学校1校と、町内を代表する集落に小学校を1校ずつ配置していますが、宮宿小学校、西五百川小学校及び朝日中学校は老朽化が進んでいることから、将来の児童・生徒数の減少による学校再編の検討を見据え、適正配置や更新、修繕・改修の方針を設定します。

施設別方針

類型	名称	目標使用年数	残存年数	運営・管理					適正配置			更新				修繕・改修		
				直営	委託	指定管理	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	小規模施設	修繕	計画改修	大規模改修
生涯学習施設	エコミュージアムコアセンター創遊館	80	60	○							○	○				○	○	○
	立木研修センター	50	21	○						○				○		○		
	西部公民館	60	31	○						○				○		○	○	
	北部公民館	50	24	○						○				○		○	○	
	大沼公民館	60	34				○			○				○		○	○	
スポーツ施設	町民体育館	80	33	○					○			○				○	○	
	送橋体育館・旧送橋小学校	50	12					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	上郷体育館	50	12					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水本体育館	-	-					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	立木体育館	50	21					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北部体育館	60	18	○						○				○		○	○	
	健康増進センター	60	25	○						○				○		○	○	
	町民プール	50	21	○							○				○	○		
運動・広場	大谷地区運動広場トイレ	50	17	○					○						○	○		
	西部地区総合運動場トイレ	50	17	○					○						○	○		
	西部地区コミュニティー広場トイレ	50	25	○					○						○	○		
	熊ノ山農村公園トイレ	50	33	○					○						○	○		
学校施設	西五百川小学校	80	39	○					○				○			○	○	○
	宮宿小学校	80	41	○					○				○			○	○	○
	大谷小学校	80	59	○					○				○			○	○	○
	朝日中学校	80	37	○					○				○			○	○	○

位置図



西部公民館



上郷体育館



大谷地区運動広場トイレ



熊ノ山農村公園トイレ



宮宿小学校 校舎



町民プール 管理室棟

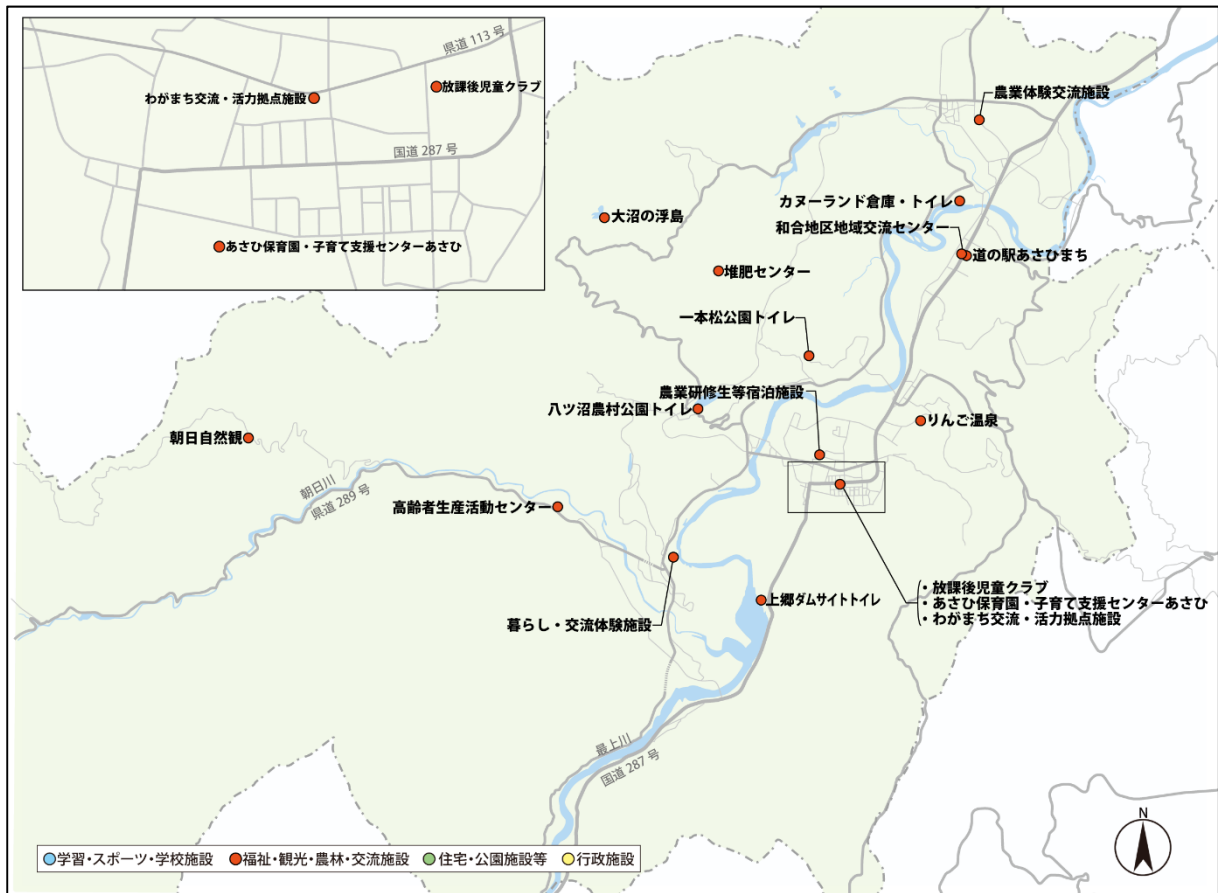
2 福祉・観光・農林・交流施設

- ①健康福祉施設は特定利用のある施設であり、運営による収入や利用状況、利用圏域に配慮し、運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。
- ②観光施設は不特定利用及び特定利用のある施設であり、運営による収入や利用状況のほか、町全体の観光施設のあり方を検討し、適正配置や更新、修繕・改修の方針を設定します。
- ③農林施設は特定利用のある施設であり、利用状況、入居状況に配慮し、運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。また、公園のトイレは機能を維持し適切な管理を行います。
- ④交流施設は不特定利用及び特定利用のある施設であり、利用状況に配慮し、運営・管理や適正配置、更新等の方針を設定します。

施設別方針

類型	名称	目標使用年数	残存年数	運営・管理					適正配置			更新				修繕・改修		
				直営	委託	指定管理	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	小規模施設	修繕	計画改修	大規模改修
健康福祉施設	高齢者生産活動センター	60	19			○			○			○				○	○	
	あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	80	70			○			○			○				○	○	○
	放課後児童クラブ	50	47			○				○					○	○	○	
観光施設	朝日自然観	60	29			○			○				○			○	○	
	わがまち交流・活力拠点施設	50	40		○	○				○		○				○	○	
	道の駅あさひまち	50	45			○					○	○				○	○	
	上郷ダムサイトトイレ	50	17					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大沼の浮島	50	38		○				○						○	○		
	カヌーランド倉庫・トイレ	50	27		○				○						○	○		
	一本松公園トイレ	50	40		○				○						○	○		
	りんご温泉	60	31				○		○				○			○	○	
農林施設	農業体験交流施設	50	28	○						○					○	○		
	堆肥センター	80	65			○			○				○			○	○	○
	農業研修生等宿泊施設	50	20					●	-	-					○	○		
	ハツ沼農村公園トイレ	50	35	○					○						○	○		
交流施設	暮らし・交流体験施設	50	-42		○						○				○	○		
	和合地区地域交流センター	50	45				○		○						○	○		

位置図



子育て支援センターあさひ



放課後児童クラブ



わがまち交流・活力拠点施設
もてなしセンター



一本松公園トイレ



堆肥センター発酵棟



上郷ダムサイトトイレ

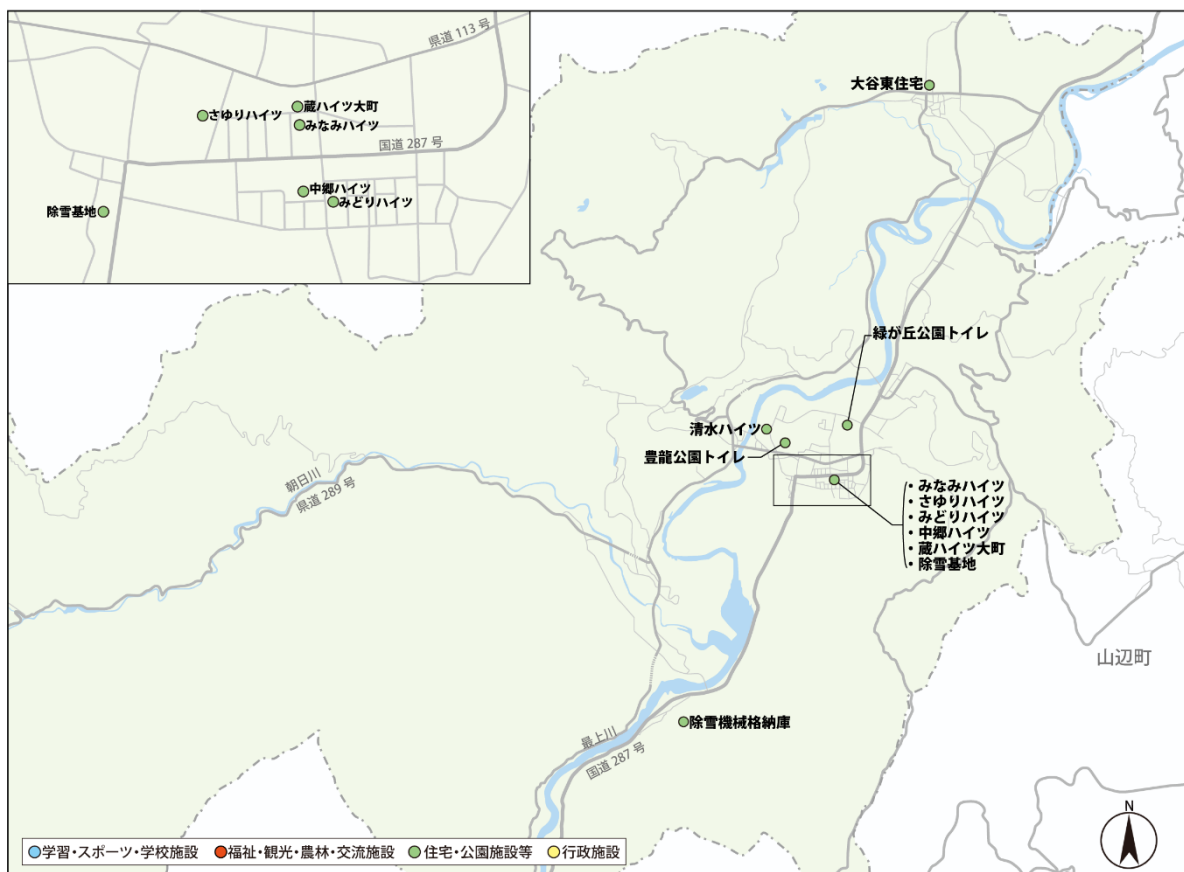
3 住宅・公園施設等

- ①町営住宅及び特定公共賃貸住宅は入居需要に配慮しながら適正配置や更新を検討し、修繕・改修については「公営住宅等長寿命化計画」に基づき実施します。
- ②公園・除雪施設は老朽化が著しい除雪機械格納庫を廃止しますが、公園のトイレや除雪施設は必要不可欠な施設であることから、機能を維持し、適切な管理を行います。

施設別方針

類型	名称	目標 使用年数	残存 年数	運営・管理					適正配置			更新				修繕・改修		
				直営	委託	指定 管理	貸付	譲渡 廃止	類似 集約	近隣 集約	拠点 集約	代表 施設	大規模 施設	地区 施設	小規模 施設	修繕	計画 改修	大規模 改修
住宅施設	清水ハイツ	80	42		○				○					○		○	○	○
	みなみハイツ	50	38		○				○					○		○	○	
	さゆりハイツ	50	44		○				○					○		○	○	
	大谷東住宅	50	44		○				○					○		○	○	
	みどりハイツ	50	30		○				○					○		○	○	
	中郷ハイツ	80	54		○				○					○		○	○	○
	蔵ハイツ大町	50	39		○				○					○		○	○	
公園施設等	緑が丘公園トイレ	50	48	○					○					○		○		
	豊龍公園トイレ	50	34	○					○					○		○		
	除雪基地	50	30	○					○					○		○		
	除雪機械格納庫	50	24					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

位置図



清水ハイツ



中郷ハイツ



緑が丘公園トイレ



豊龍公園トイレ



除雪基地



除雪機械格納庫

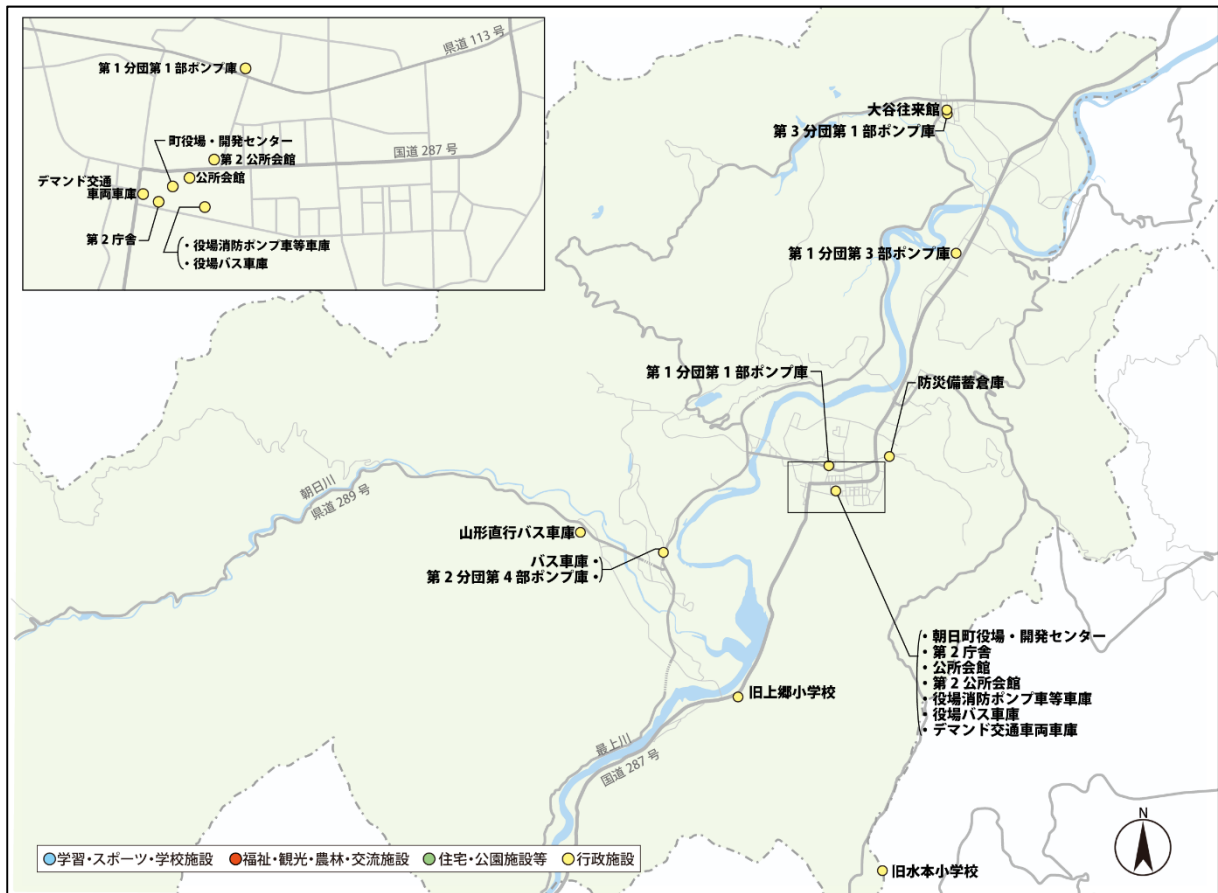
4 行政施設

- ①庁舎等は行政サービスの拠点であり、町を代表する多機能施設として管理や配置、更新等の方針を設定します。利用が限られている施設は人口動向や施設配置を考慮し、廃止を検討します。
- ②消防ポンプ・車庫等は、防災機能を果たす消防車庫と公共交通サービスを維持するための施設であり、利用の有無に係わらず必要な施設であるため、地域や設置場所に配慮し、管理や配置、更新等の方針を設定します。

施設別方針

類型	名称	目標使用年数	残存年数	運営・管理					適正配置			更新				修繕・改修		
				直営	委託	指定管理	貸付	譲渡廃止	類似集約	近隣集約	拠点集約	代表施設	大規模施設	地区施設	小規模施設	修繕	計画改修	大規模改修
庁舎等	朝日町役場・開発センター	80	31	○							○	○				○	○	○
	第2庁舎	60	30	○					○				○			○	○	
	公所会館	50	11					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2公所会館	60	17				○		○					○		○	○	
	大谷往来館	50	26				○			○				○		○		
	旧水本小学校	-	-					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧上郷小学校	50	11					●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防ポンプ・車庫等	第1分団第1部ポンプ庫	50	13	○					○					○		○		
	第1分団第3部ポンプ庫	50	45	○					○					○		○		
	第2分団第4部ポンプ庫	50	15	○					○					○		○		
	第3分団第1部ポンプ庫	50	13	○					○					○		○		
	防災備蓄倉庫	50	49	○					○					○		○		
	役場消防ポンプ車等車庫	50	26	○					○					○		○		
	役場バス車庫	50	35	○					○					○		○		
	デマンド交通車両車庫	50	41	○					○					○		○		
	山形直行バス車庫	50	40	○					○					○		○		
	バス車庫	50	15	○					○					○		○		

位置図



第2庁舎



大谷往来館



防災備蓄倉庫



手前) 役場消防ポンプ等車庫
奥側) 役場バス車庫



第1分団第3部庫ポンプ庫



左側) 第2分団第4部ポンプ庫
右側) バス車庫

第4節 長期的な事業の見通し

1 維持・更新コスト

維持・更新コストは、算出条件により下記の3ケースの事業費を算出し、以下に示す比較を行い縮減効果を検証します。

なお、本計画における「長寿命化型」とは、全施設について計画改修及び大規模改修を実施し長寿命化を図る場合とし、「類型別方針型」とは、類型別方針に基づき廃止を検討している施設や残存年数の少ない施設を除き、選択的に計画改修及び大規模改修を実施した場合とします。

■長寿命化による縮減効果：「従来型」（長寿命化しない場合）と「長寿命化型」（全施設を長寿命化する場合）による比較

■長期的な事業の見通しによる縮減効果：「長寿命化型」と「類型別方針型」（選択的に長寿命化する場合）による比較

算出条件

項目			従来型	長寿命化型	類型別方針型
			長寿命化しない場合	全施設を長寿命化する場合	選択的に長寿命化する場合
試算期間 （総合管理計画目標年度）			36 年	36 年	36 年
事業の考え方			全ての施設を保有	全ての施設を保有	基本方針における 適正配置等を考慮
目標 使用 年数	SRC RC S	概ね 1,000 ㎡ 以上	50 年	80 年	80 年
		概ね 100～ 1,000 ㎡未満	50 年	60 年	60 年
	W	概ね 1,000 ㎡ 以上	50 年	80 年	80 年
事業 内容	修繕		全ての施設で実施	全ての施設で実施	全ての施設で実施
	計画改修		25 年で実施	20 年、60 年で実施 （20 年毎）	譲渡・廃止を除く 20 年、60 年で実施 （20 年毎）
	大規模改修		実施しない	40 年で実施	残存年数の少ない施設を 除き 40 年で実施
	更新		目標使用年数経過時 に実施	目標使用年数経過時 に実施	譲渡・廃止を除き目標使 用年数経過時に実施
事業 費	修繕		過去 10 年間の 年平均支出実績	過去 10 年間の 年平均支出実績	過去 10 年間の 年平均支出実績
	計画改修		大規模改修の 50%	大規模改修の 50%	大規模改修の 50%
	大規模改修		—	公共施設等更新費用試算 ソフト単価による	公共施設等更新費用試算 ソフト単価による
	更新		公共施設等更新費用試算 ソフト単価による	公共施設等更新費用試算 ソフト単価による	公共施設等更新費用試算 ソフト単価による
支出可能額（億円/年）			考慮しない	考慮しない	5.3 億円
事業量の平準化			考慮しない	考慮しない	考慮（第 4 章）

※支出可能額

総合管理計画年平均負担額 : 6.2 億円 総合管理計画施設保有量 : 62,451 m²
直近 10 年間の年平均投資的経費 : 5.7 億円 (公共建築物に係る投資的経費)
直近 3 年間の年平均事業費 : 5.3 億円 (対象施設の施設整備費、修繕費の計)

維持・更新コストの対象施設は、SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)、RC(鉄筋コンクリート造)、S(重量鉄骨造)のうち100㎡未満とW(木造)の1,000㎡未満を除く32施設が対象となります。

維持・更新コストの対象施設とケース別の目標使用年数

名称		建設年度	延床面積	構造階数	目標使用年数		
					従来型	長寿命化型	類型別方針型
エコミュージアムコアセンター創遊館		H12	3,727	RC2	50	80	80
立木研修センター		H3	1,263	木2	50	80	50
西部公民館	本館	H3	805	RC2	50	60	60
大沼公民館		H6	1,181	木2	50	80	60
町民体育館		S48	1,272	SRC2	50	80	80
送橋体育館・旧送橋小学校		S57	2,005	SRC3	50	80	50
上郷体育館		S57	601	S1	50	60	50
水本体育館		S55	503	S1	廃止		
立木体育館		H3	764	SRC1	50	60	50
北部体育館		S53	496	S1	50	60	60
健康増進センター		S60	977	S1	50	60	60
町民プール	管理棟	H3	118	S1	50	60	50
西五百川小学校	校舎	S54	2,055	SRC3	50	80	80
	屋内運動場	H25	762	RC1	50	80	80
宮宿小学校	校舎	S56	2,515	RC3	50	80	80
	屋内運動場	H25	1,224	RC1	50	80	80
大谷小学校	校舎	H11	2,600	RC2	50	80	80
	屋内運動場	H11	1,097	RC1	50	80	80
朝日中学校	校舎	S52	5,395	SRC3	50	80	80
	屋内運動場	S53	1,523	SRC1	50	80	80
	武道館	S54	497	S1	50	60	60
高齢者生産活動センター		S54	755	S1	50	60	60
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	H22	1,940	S1	50	80	80
	送迎バス車庫	H22	150	S1	50	60	50
朝日自然観	ホテル	H1	2,136	S4B1	50	80	60
	圧雪車格納庫	H2	198	S1	50	60	50
	ロッジしらくら	H28	401	S1	50	60	60
りんご温泉	本館	H3	1,348	木2	50	80	60
堆肥センター	発酵棟	H17	1,456	SRC1	50	80	80
	籾殻保管庫	H17	864	SRC1	50	60	60
清水ハイツ	住居棟	S57	831	RC3	50	80	80
中郷ハイツ	住居棟	H6	2,495	RC5	50	80	80
	自転車置場	H6	158	RC1	50	60	50
除雪機械格納庫	格納庫	H6	442	S1	50	60	50
朝日町役場・開発センター	本庁舎 開発センター	S46	3,571	RC3	50	80	80
第2庁舎		H2	687	S2	50	60	60
第2公所会館		S52	231	RC1	50	60	60
旧水本小学校		S63	1,484	木2	廃止		
旧上郷小学校		S56	1,153	RC3	50	80	50
第1分団第1部ポンプ庫		S58	137	S2	50	60	50
役場消防ポンプ車等車庫		H8	113	S1	50	60	50
デマンド交通車両車庫		H23	109	S1	50	60	50

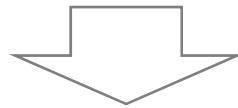
※西五百川小学校屋内運動場と清水ハイツは、躯体の状態や利用状況を考慮し目標使用年数を80年とする

公共施設等更新費用試算ソフト単価

(千円/㎡)

施設分類	主な施設	大規模 改修	更新	想定される構造
市民文化系施設	公民館、市民会館	250	400	SRC, RC、S
社会教育系施設	図書館・博物館・美術館	250	400	SRC, RC、S
スポーツ・レクリエーション	市民体育館、野球場、少年自然の家	200	360	SRC, RC、S
産業系施設	勤労会館、産業振興センター	250	400	SRC, RC、S
医療施設	市民病院	250	400	SRC, RC、S
保健・福祉施設	保健センター、老人福祉・障害福祉センター	200	360	SRC, RC、S、W
子育て支援施設	保育園、児童館 等	170	330	SRC, RC、S、W
行政系施設	庁舎、支所 等	250	400	SRC, RC、S
学校教育系施設	小学校、中学校	170	330	SRC, RC、S
公営住宅	市営住宅	170	280	SRC, RC、S、PC、CB、W
公園	管理棟、倉庫、便所	170	330	S、PC、CB、W
その他	公衆トイレ、自転車置場	200	360	S、PC

(地域総合整備財団)



改修・更新費設定単価

(千円/㎡)

類型	試算ソフト施設分類	計画 改修	大規模 改修	更新	想定される構造
生涯学習施設	社会教育系施設	125	250	400	SRC, RC、S
スポーツ施設	スポーツ・レクリエーション	100	200	360	SRC, RC、S
運動・広場	公園	85	170	330	S、PC、CB、W
学校施設	学校教育系施設	85	170	330	SRC, RC、S
健康福祉施設	保健・福祉施設	100	200	360	SRC, RC、S、W
観光施設	スポーツ・レクリエーション	100	200	360	SRC, RC、S
農林施設	その他	100	200	360	S、PC
交流施設	その他	100	200	360	S、PC
町営住宅	公営住宅	85	170	280	SRC, RC、S、PC、CB、W
特定公共賃貸住宅等	公営住宅	85	170	280	SRC, RC、S、PC、CB、W
公園・除雪施設	公園	85	170	330	S、PC、CB、W
庁舎等	行政系施設	125	250	400	SRC, RC、S
消防ポンプ・車庫等	行政系施設	125	250	400	SRC, RC、S

※計画改修：大規模改修の50%

2 縮減効果

算出条件に基づいて算出した3ケースの事業量を比較すると、以下のようになります。

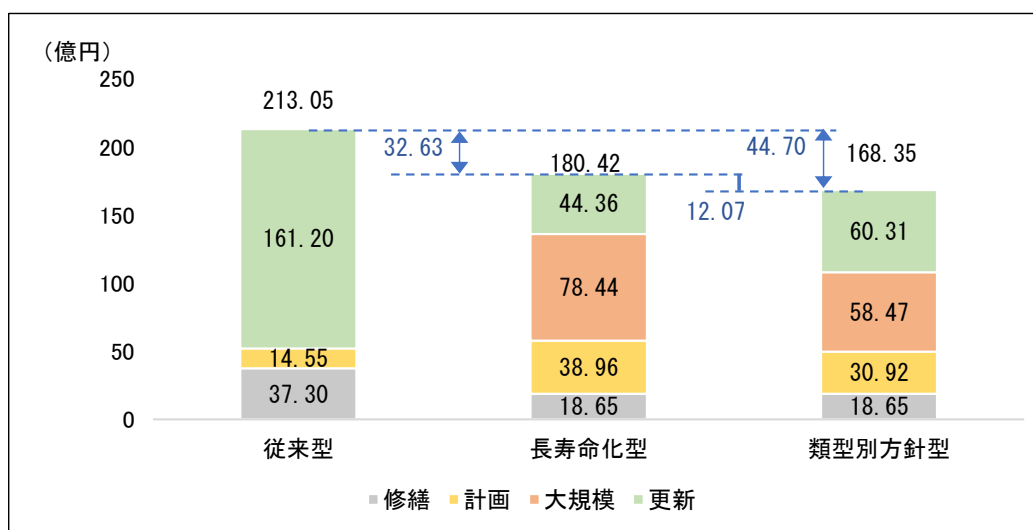
(1) 長寿命化による縮減効果

長寿命化しない「従来型」と全施設で長寿命化を図る「長寿命化型」で比較すると、「従来型」が約213億円、年平均5.92億円、「長寿命化型」が約180億円、年平均5.01億円となり、長寿命化をすると36年間で約33億円、年平均0.91億円の縮減効果が期待されます。

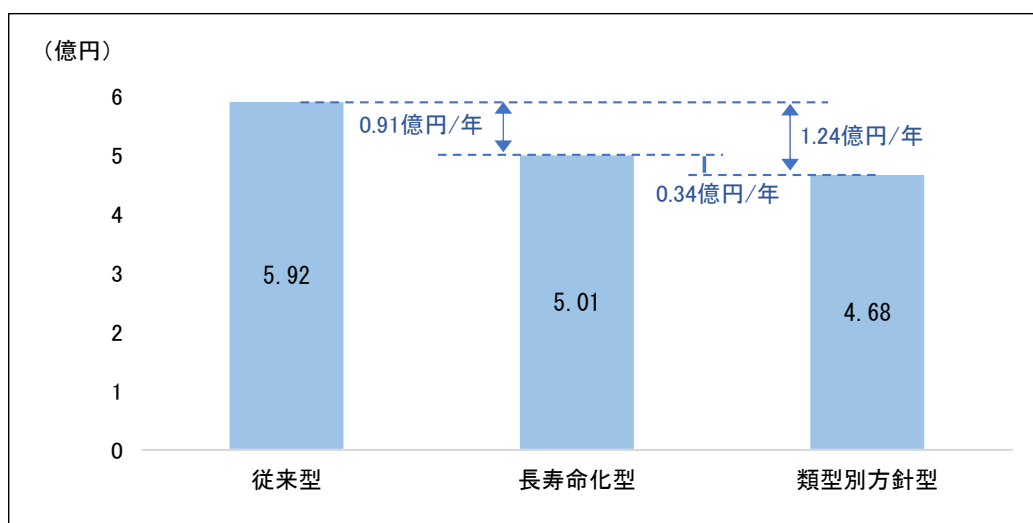
(2) 長期的な事業の見通しによる縮減効果

「長寿命化型」と類型別方針により選択的に長寿命化する「類型別方針型」で比較すると、「類型別方針型」は約168億円、年平均4.68億円となり、長期的な事業の見通しでは36年間で約45億円、年平均1.24億円の縮減効果が期待されます。

縮減効果(36年間)

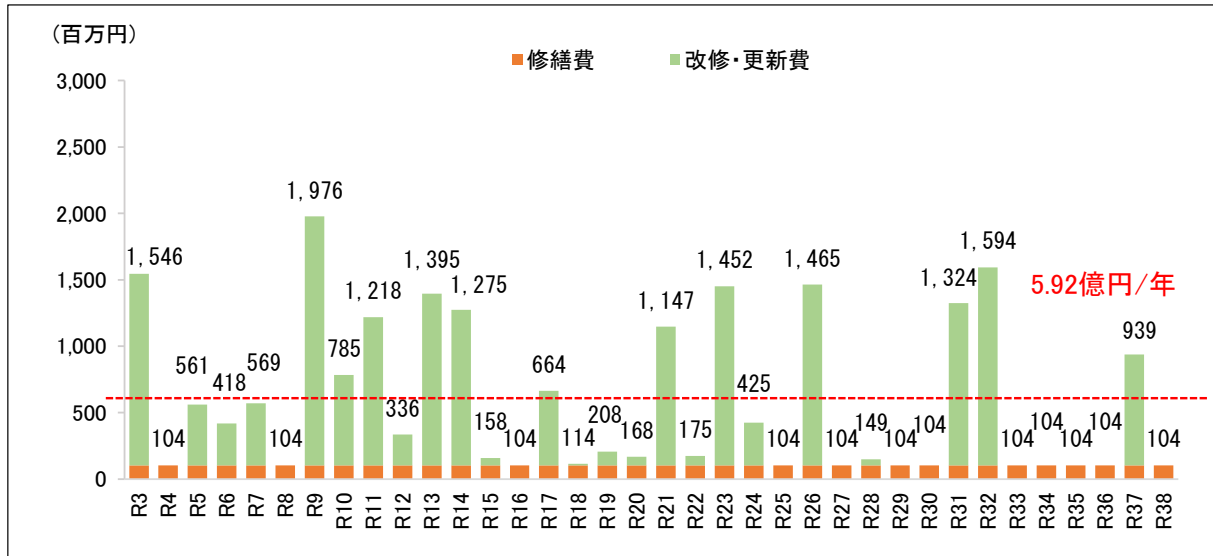


縮減効果(年平均)

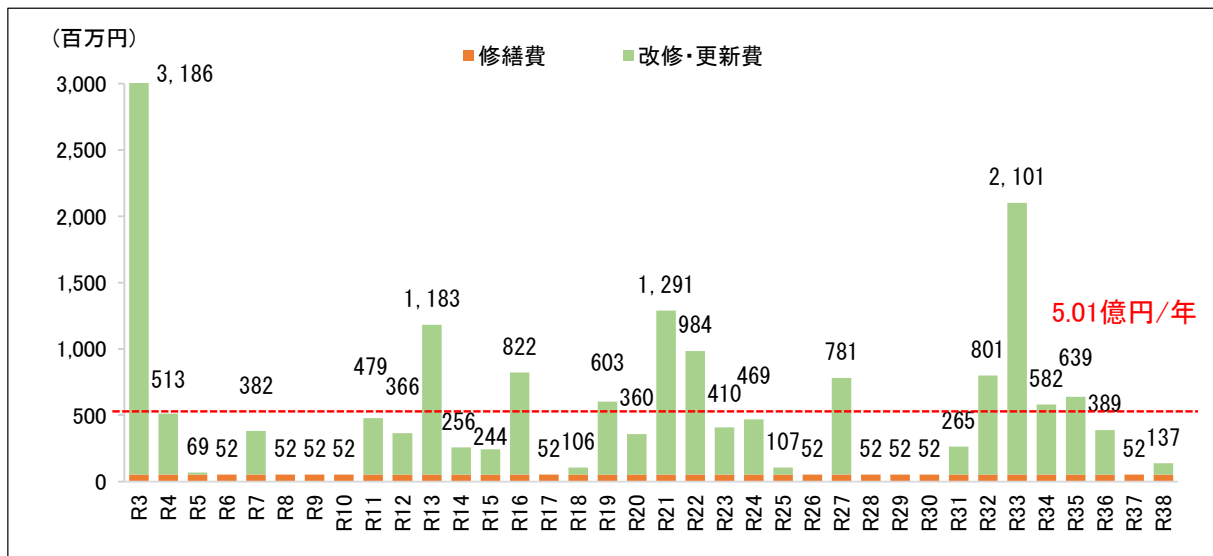


※従来型：長寿命化しない場合
 長寿命化型：全施設を長寿命化した場合
 類型別方針型：選択的に長寿命した場合

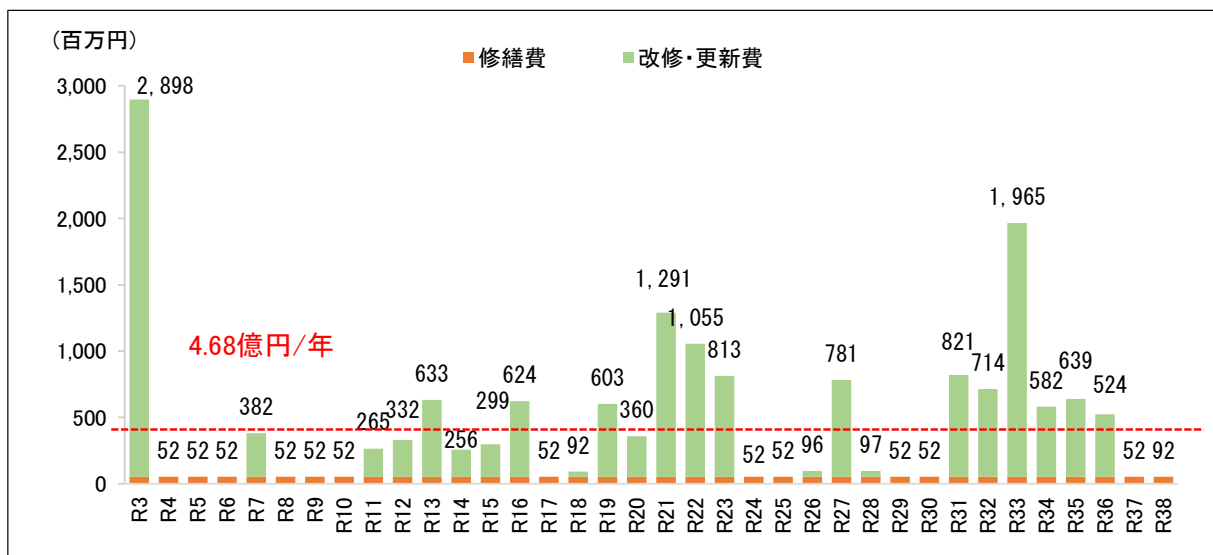
従来型：長寿命化しない場合



長寿命化型：全施設を長寿命化する場合



類型別方針型：選択的に長寿命化する場合



3 類型別方針に基づく長期的な事業の見通し（類型別方針型：選択的に長寿命した場合）

類型別方針に基づく選択的に長寿命化した場合の事業量は、計画期間（10 年間）では 4.2 億円/年、計画期間以降（26 年間）では 4.9 億円/年、長期期間（36 年間）は 4.7 億円/年となり、支出可能額の 5.3 億円/年の範囲内となります。

長期的な事業量

（百万円）

名称	建設年度	目標使用年数	事業内容								
			計画期間（10 年間）			計画期間以降（26 年間）			長期期間（36 年間）		
			計画	大規模	更新	計画	大規模	更新	計画	大規模	更新
エコミュージアムコアセンター創遊館	H12	80					932			932	
立木研修センター	H3	50						505			505
西部公民館 本館	H3	60				101		322	101		322
大沼公民館	H6	60				148		472	148		472
町民体育館	S48	80				127		458	127		458
送橋体育館・旧送橋小学校	S57	50									
上郷体育館	S57	50									
水本体育館	S55	廃止									
立木体育館	H3	50									
北部体育館	S53	60						178			178
健康増進センター	S60	60	98					352	98		352
町民プール 管理棟	H3	50						42			42
西五百川小学校 校舎	S54	80		349		175			175	349	
屋内運動場	H25	80				65	130		65	130	
宮宿小学校 校舎	S56	80		428		214			214	428	
屋内運動場	H25	80				104	208		104	208	
大谷小学校 校舎	H11	80					442			442	
屋内運動場	H11	80					186			186	
朝日中学校 校舎	S52	80		917		459			459	917	
屋内運動場	S53	80		259		129			129	259	
武道館	S54	60						164			164
高齢者生産活動センター	S54	60						272			272
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	H22	80	155				310		155	310	
送迎バス車庫	H22	80	39				78		39	78	
朝日自然観 ホテル	H1	60	214					769	214		769
圧雪車格納庫	H2	50						71			71
ロッジしらくら	H28	60				80			80		
りんご温泉 本館	H3	60				135		485	135		485
堆肥センター 発酵棟	H17	80	146				291		146	291	
籾殻保管庫	H17	60	86			86			173		
清水ハイツ 住居棟	S57	80									
中郷ハイツ 住居棟	H6	80					424			424	
自転車置場	H6	50						44			44
除雪機械格納庫 格納庫	H6	50									
朝日町役場・開発センター 本庁舎	S46	80		426		213		682	213	426	682
開発センター 開発センター	S46	80		467		233		747	233	467	747
第 2 庁舎	H2	60	86					275	86		275
第 2 公所会館	S52	60						92			92
旧水本小学校	S63	廃止									
旧上郷小学校	S56	50									
第 1 分団第 1 部ポンプ庫	S58	50						55			55
役場消防ポンプ車等車庫	H8	50						45			45
デマンド交通車両車庫	H23	50									
改修・更新費			823	2,846	0	2,368	3,001	5,931	3,192	5,847	5,931
改修・更新費計					3,669			11,301			14,970
修繕費					518			1,347			1,865
事業費計					4,187			12,648			16,835
年平均事業費					419			486			468

公共施設整備計画

第4章

第1節 事業方針

1 事業量の平準化

(1) 計画期間における年度別事業

長期的な事業の見通しで検討された事業周期に基づく事業スケジュールは、次表のとおりであり、事業量は4.68億円/年となります。

学校施設と朝日町役場・開発センターは、本来の大規模改修の事業周期を経過している状況から、計画期間の開始当初に集中しています。

本計画では、支出可能額5.3億円/年の範囲で実施可能となるよう、事業量の平準化を図ります。

事業周期による年度別事業

名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
エコミュージアムコアセンター創遊館										
立木研修センター										
西部公民館	本館									
大沼公民館										
町民体育館										
北部体育館										
健康増進センター					計画					
町民プール	管理棟									
西五百川小学校	校舎	大規模								
	屋内運動場									
宮宿小学校	校舎	大規模								
	屋内運動場									
大谷小学校	校舎									
	屋内運動場									
朝日中学校	校舎	大規模								
	屋内運動場	大規模								
	武道館									
高齢者生産活動センター										
あさひ保育園・子育て支援センター	あさひ保育園									計画
あさひ	子育て支援センター									計画
	送迎バス車庫									
朝日自然観	ホテル								計画	
	圧雪車格納庫									
	ロッジしらくら									
りんご温泉	本館									
堆肥センター	発酵棟				計画					
	籾殻保管庫				計画					
清水ハイツ	住居棟		計画							
中郷ハイツ	住居棟									
	自転車置場									
朝日町役場・開発センター	本庁舎	大規模								
	開発センター	大規模								
第2庁舎										計画
第2公所会館										
第1分団第1部ポンプ庫										
役場消防ポンプ車等車庫										
デマンド交通車両車庫										

事業周期を経過した事業

事業周期に基づく大規模改修

事業周期に基づく計画改修

(2) 平準化による計画期間の年次別事業

支出可能額 5.3 億円/年の範囲内となるよう財政負担を軽減するため、以下の考え方に基づき事業量の平準化を図ることとします。

平準化条件

単年度の事業費	年平均事業費約 4.3 億円に近づける
事業時期の変更	改修や更新が集中する年度がある場合、前後 5 年程度で調整する
複数年度での実施	施設の規模が大きく事業費が多額となる場合には、複数年度での実施とする
事業量の縮減	大規模改修時に複合集約化を図り事業量を縮減する

平準化による年度別事業

(百万円)

名称	残存 年数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
エコミュージアムコアセンター創遊館	60										
立木研修センター	21										
西部公民館 本館	32										
大沼公民館	34										
町民体育館	33										
北部体育館	18										
健康増進センター	25									98	
町民プール 管理棟	21										
西五百川小学校 校舎	39	349									
屋内運動場	73										
宮宿小学校 校舎	41		428								
屋内運動場	72										
大谷小学校 校舎	59										
屋内運動場	59										
朝日中学校 校舎	37			459	459						
屋内運動場	38					259					
武道館	19										
高齢者生産活動センター	19										
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	70										194
送迎バス車庫	40										
朝日自然観 ホテル	29									214	
庄雪車格納庫	20										
ロジックしらくら	56										
りんご温泉 本館	31										
堆肥センター 発酵棟	65								146		
籾殻保管庫	45								86		
清水ハイツ 住居棟	42										
中郷ハイツ 住居棟	54										
自転車置場	24										
朝日町役場・開発センター 本庁舎	31						446	446			
開発センター	31										
第 2 庁舎	30										86
第 2 公所会館	17										
第 1 分団第 1 部ポンプ庫	13										
役場消防ポンプ車等車庫	26										
デマンド交通車両車庫	41										
合計		349	428	459	459	259	446	446	232	311	280

事業周期を経過した事業

事業周期に基づく大規模改修

事業周期に基づく計画改修

※四捨五入により必ずしも合計は一致しない

※事業費：公共施設等更新費用試算ソフト単価による

2 優先順位の設定

(1) 劣化状況からみた優先性

現況劣化と経年劣化の状況から優先表を基に、平準化に基づく計画期間の年次から優先性に基づく計画期間の年次を設定すると、以下のとおりとなります。

事業対象施設の劣化状況				
項目	現況劣化			
	A	B	C	D
経年劣化	(A) ・西五百川小学校屋内運動場 14 ・宮宿小学校屋内運動場 14 ・自然観ロジシラくら 14 ・デマンド交通車両車庫 16			
	(B) ◆あさひ保育園 16 ◆子育て支援センターあさひ 16	◆堆肥センター発酵棟 29 ◆堆肥センター糞殻保管庫 29 ・あさひ保育園・子育て支援センターあさひ送迎バス車庫 25		
	(C)	・大谷小学校校舎 26 ・大谷小学校屋内運動場 26 ・役場消防ポンプ車等車庫 26 ・町民プール管理棟 28 ・北部公民館本館 29 ・西部公民館本館 32 ・大沼公民館 31 ・中郷ハイツ住居棟 30 ・中郷ハイツ自転車置場 30	・エコミュージアムコアセンター創遊館 38 ・立木研修センター41	
	(D) ◆清水ハイツ住居棟 15	◆健康増進センター29 ◆朝日中学校普通教室棟 29 ・朝日自然観圧雪車格納庫 30 ◆朝日自然観ホテル 32 ・第1分団第1部ポンプ庫 34	◆第2庁舎 36 ◆宮宿小学校校舎 37	
	(E) ・第2公所会館 16	・高齢者生産活動センター24 ◆朝日中学校特別教室棟 29 ・北部体育館 25 ・町民体育館 29	・朝日中学校武道館 35 ◆西五百川小学校校舎 41 ◆朝日町役場本庁舎 41 ◆開発センター41 ◆朝日中学校屋内運動場 42 ◆朝日中学校技術室棟 42	

◆は事業周期により計画期間の対象となる施設

施設名称の末尾に付記する数値は現況劣化度

劣化状況の優先表

項目			現況劣化			
			A	B	C	D
			概ね良好	やや劣化が進んでいる	劣化が進んでいる	著しく劣化している
経年劣化	(A)	10年未満	優先性 8	優先性 7	優先性 6	優先性 5
	(B)	10～20 年未満	優先性 7	優先性 6	優先性 5	優先性 4
	(C)	20～30 年未満	優先性 6	優先性 5	優先性 4	優先性 3
	(D)	30～40 年未満	優先性 5	優先性 4	優先性 3	優先性 2
	(E)	40 年以上	優先性 4	優先性 3	優先性 2	優先性 1

平準化に基づく計画期間年次別施設

名称	事業年度
清水ハイツ住居棟	R3
西五百川小学校校舎	R3
宮宿小学校校舎	R4
朝日中学校校舎	R5・6
朝日中学校屋内運動場	R7
朝日町役場本庁舎	R8・9
開発センター	R8・9
堆肥センター発酵棟	R10
堆肥センター発糞殻保管庫	R10
健康増進センター	R11
自然観ホテル	R11
あさひ保育園	R12
子育て支援センターあさひ	R12
第2庁舎	R12



優先性に基づく計画期間年次別施設

名称	優先性	事業年度
朝日町役場本庁舎	2	R3・4
開発センター	2	R3・4
西五百川小学校校舎	2	R5
朝日中学校屋内運動場	2	R6
朝日中学校校舎	2・3・4	R7・8
宮宿小学校校舎	3	R9
第2庁舎	3	R6
朝日自然観ホテル	4	R10
健康増進センター	4	R10
清水ハイツ住居棟	5	R12
堆肥センター発酵棟	6	R11
堆肥センター発糞殻保管庫	6	R11
あさひ保育園	7	R12
子育て支援センターあさひ	7	R12

(2) 優先性による年度別事業

事業対象施設のうち前項で示した事業周期・平準化による年度別事業を踏まえ、劣化状況からみた優先性を考慮した年度別事業は、以下のようになります。

優先性による年度別事業 (百万円)											
名称	残存年数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
エコミュージアムコアセンター創遊館	60										
立木研修センター	21										
西部公民館 本館	32										
大沼公民館	34										
町民体育館	33										
北部体育館	18										
健康増進センター	25								98		
町民プール 管理棟	21										
西五百川小学校 校舎	39			349							
屋内運動場	73										
宮宿小学校 校舎	41							428			
屋内運動場	72										
大谷小学校 校舎	59										
屋内運動場	59										
朝日中学校 校舎	37					459	459				
屋内運動場	38				259						
武道館	19										
高齢者生産活動センター	19										
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	70										194
送迎バス車庫	40										
朝日自然観 ホテル	29								214		
圧雪車格納庫	20										
ロッジしらくら	56										
りんご温泉 本館	31										
堆肥センター 発酵棟	65									146	
糞穀保管庫	45									86	
清水ハイツ 住居棟	42										
中郷ハイツ 住居棟	54										
自転車置場	24										
朝日町役場・開発センター 本庁舎	31	446	446								
開発センター	31										
第2庁舎	30				86						
第2公所会館	17										
第1分団第1部ポンプ庫	13										
役場消防ポンプ車等車庫	26										
デマンド交通車両車庫	41										
合計		446	446	349	345	459	459	428	311	232	194

事業周期を経過した事業
事業周期に基づく大規模改修
事業周期に基づく計画改修
事業周期に基づく更新

※四捨五入により必ずしも合計は一致しない

※事業費：公共施設等更新費用試算ソフト単価による

3 年度別整備計画

計画期間の事業量は、個別計画等で予定している事業を含めた 12 施設の計画改修等により 2,978 百万円、修繕費を含め 3,496 百万円を想定します。

なお、各所管課の計画、個別計画等で予定されている事業の実施については、実施時期や改修内容の調整を図ることとします。

学校施設や朝日町役場・開発センターは、各所管課で計画している改修により、長寿命化を図るものとします。

公所会館は類型別方針に基づき、解体費約 6 百万円を予定します。

年度別事業計画（事業内容）

名称		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
エコミュージアムコアセンター創遊館		舞台等	衛生等	衛生等	舞台等	電気等	空調等	空調等	換気等	給水等	内装等
立木研修センター											
西部公民館	本館										
大沼公民館											
町民体育館											
北部体育館											
健康増進センター									計画		
町民プール	管理棟										
西五百川小学校	校舎	外壁・建具・屋根屋上 等				内装 等					
	屋内運動場	LED 更新等									
宮宿小学校	校舎	外壁等	外部・内装・受水槽等			内装 等			防水 等		
	屋内運動場		電熱設備 等								
大谷小学校	校舎	音響設備等		屋根・バルコニー・内装塗装等					防水・外壁 等		
	屋内運動場	玄関屋根		内装・非構造部材 等					屋根・外壁 等		
朝日中学校	校舎	外壁(技)、内装(普・特)等				給水等		防水・外壁(普・特)等			
	屋内運動場	外壁・内装等				内装等					
	武道館	外壁・建具・内装等						屋根・防水			
高齢者生産活動センター											
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ	あさひ保育園					空調・LED 等					
	子育て支援センターあさひ										
	送迎バス車庫										
朝日自然観	ホテル									計画	
	圧雪車格納庫										
	ロジしらくら										
りんご温泉	本館										
堆肥センター	発酵棟						計画				
	籾殻保管庫						計画				
清水ハイツ	住居棟										
中郷ハイツ	住居棟										
	自転車置場										
朝日町役場・開発センター	本庁舎	外壁・内装・冷暖房等			防水・建具等			防水・建具等			
	開発センター										
第2庁舎		屋根・防水等			建具・塗装・内装等			建具 等			
公所会館			解体								
第2公所会館											
第1分団第1部ポンプ庫											
役場消防ポンプ車等車庫											
デマンド交通車両車庫											

※個別計画では事業内容が複数年に跨るよう検討

事業周期に基づく計画改修
個別計画による事業
廃止・解体

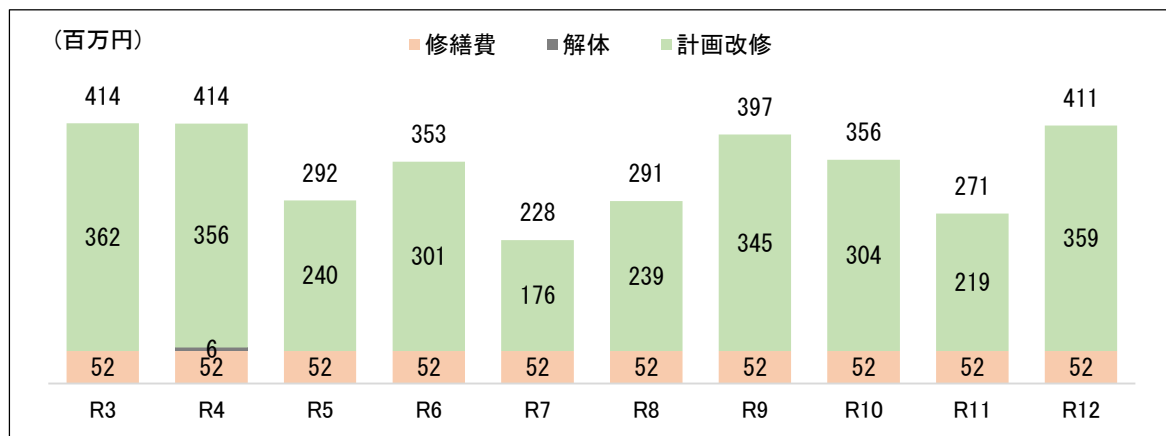
年度別事業計画（金額）

（百万円）

名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	合計
エコミュージアムコアセンター創遊館	23	5	10	24	40	7	13	10	5	359	494
立木研修センター											
西部公民館 本館											
大沼公民館											
町民体育館											
北部体育館											
健康増進センター								98			98
町民プール 管理棟											
西五百川小学校 校舎	38				18						56
屋内運動場	8										8
宮宿小学校 校舎		5	227		57			11			299
屋内運動場			4								4
大谷小学校 校舎	4			72				85			160
屋内運動場	18			43				45			106
朝日中学校 校舎		188			6		318				511
屋内運動場		163			1						164
武道館	43						13				56
高齢者生産活動センター											
あさひ保育園・子育て支援センターあさひ					55						55
送迎バス車庫											
朝日自然観 ホテル								214			214
圧雪車格納庫											
ロッジしらくら											
りんご温泉 本館											
堆肥センター 発酵棟						146					146
籾殻保管庫						86					86
清水ハイツ 住居棟											
中郷ハイツ 住居棟											
自転車置場											
朝日町役場・開発センター 本庁舎	204			126				45			374
開発センター											
第2庁舎	19			37				11			66
公所会館		6									6
第2公所会館											
第1分団第1部ポンプ庫											
役場消防ポンプ車等車庫											
デマンド交通車両車庫											
合計	362	362	240	301	176	239	345	304	219	359	2,907

※事業周期に基づく事業費：公共施設等更新費用試算ソフト単価による
 ※個別計画に基づく事業費：各計画の年度別費用（合計が百万円以上の年度）
 ※複数年に跨る事業内容の金額は単年度で整理
 ※四捨五入により必ずしも合計は一致しない

事業周期に基づく計画改修	544
個別計画に基づく事業	2,355
廃止・解体	6



第2節 計画の継続的運用

1 情報基盤の整備と活用

公共施設は建物単位で劣化調査や定期点検、日常点検の実施結果も含め、データをカルテ形式、データベース形式で管理します。

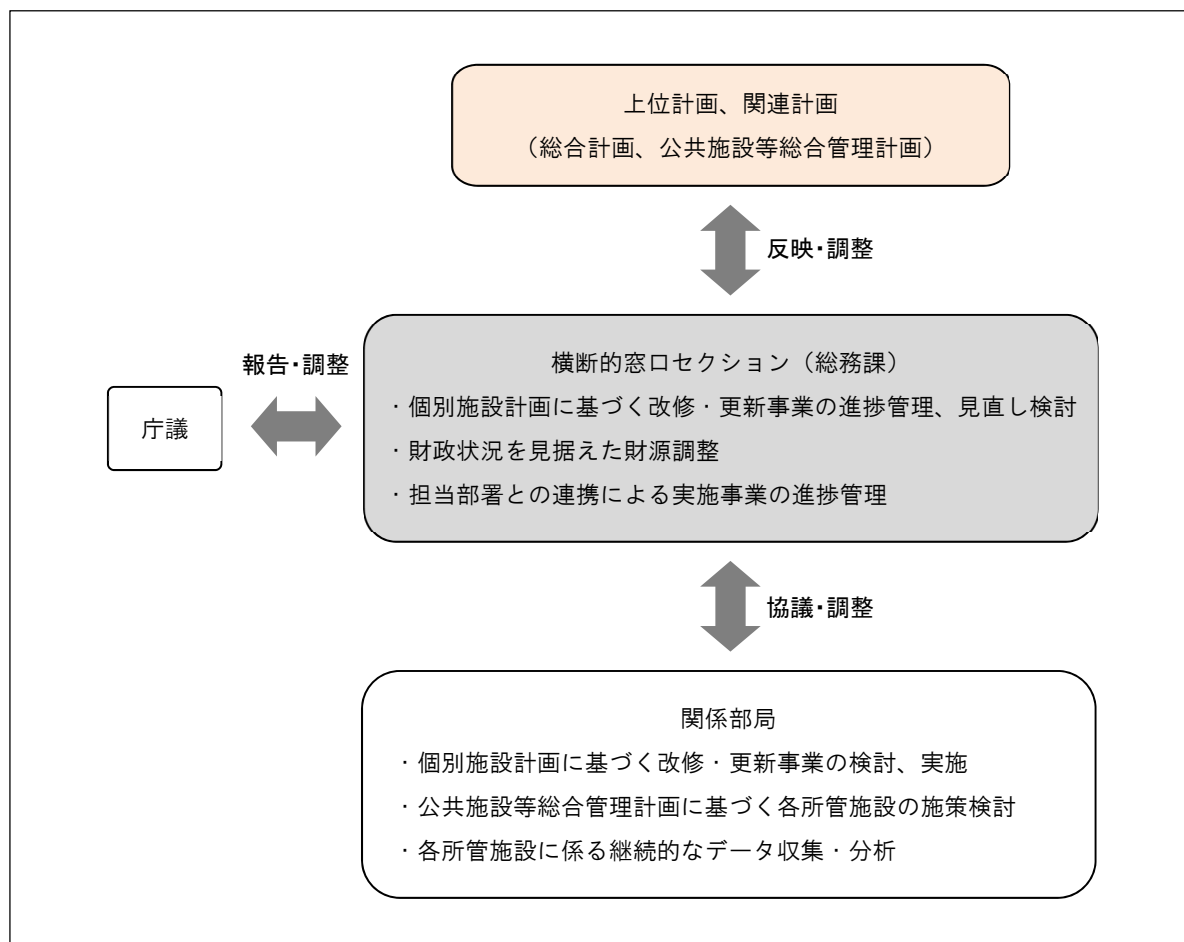
また、建物単位での修繕・改善履歴データの整理を行い、履歴の確認や修繕・改善の発生原因の検証等に役立てるものとします。

2 推進体制の構築

本計画を推進するため、これまでの「事後保全」の考え方ではなく、「予防保全」の視点に立つという共通認識のもと、公共施設を日常的に管理している所管課と予算マネジメントを担当する総務課の連携を十分に図ります。施設の所管課は本計画に基づく施設の改修・更新実施時期を見据えた検討を行うとともに、所管施設の現状把握を行い、財源調整を十分に行ったうえで、事業内容の精査⇒事業実施⇒事業評価というサイクルを通して、評価・検証・見直しを進めます。

また、総務課を中心に本計画に基づく改修・更新事業については毎年度進捗状況を確認し、全体調整を図るなど計画の管理体制を整備します。

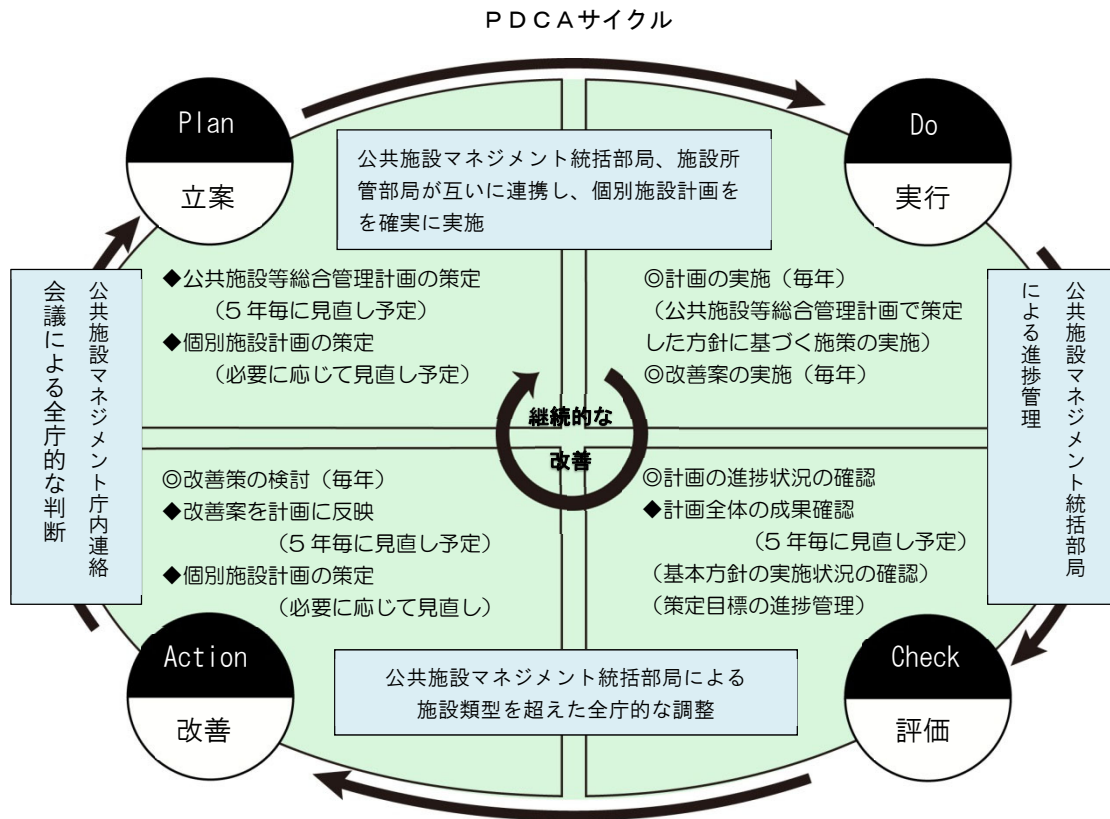
推進体制



3 フォローアップ

個別施設計画を推進する中で、PDCAサイクル等の手法により進行管理を実施しながら、本計画のフォローアップを行うとともに、公共施設全般のマネジメントに関する進行管理手法について検討します。

計画の見直しにあたっては、事業の進捗状況や財政状況を見据えながら、概ね5年毎に見直しを行うものとします。



4 今後の課題

本計画は計画期間において支出可能な投資額に配慮し、実現可能な事業計画としていますが、計画期間（10年間）以降に投資額の不足が生じるおそれがある場合は、事業の実施時期の見直しや財源の確保が必要となります。

今後も、社会情勢や住民のニーズを適切に把握したうえで公共施設の最適なあり方を検討していきます。

また、既存施設について改修・更新の際には、施設の老朽化状況等も踏まえながら、将来的な施設のあり方（運営・管理、統合や集約、廃止等）を見据えた上で実施するものとします。

朝日町公共施設個別施設計画

令和 3 年 3 月

発 行 山形県朝日町

編 集 朝日町総務課

〒990-1442 山形県西村山郡朝日町大字宮宿 1115

TEL 0237-67-2111 FAX 0237-67-2117

ASAHI
TOWN